

工場

浅草ハム株式会社

関東工場／茨城県北茨城市

浅草の地に誕生した「浅草ハム」は、1932年に創業した老舗の企業です。「どなたでも、安心して食べられる。」食の安全にこだわり、幼稚園・保育園や学校などの給食用商材としても多数の採用実績を誇ります。小さなお客様のいる家庭においても安心して楽しめる自慢の商品を提供されております。

そして、その長い歴史によって培われてきた技、その品質を継承しながら、「伝統を守りつつも、常に新しい価値を生み出せるように。」をコンセプトに、日々、変化と成長を目指されておられます。

本件は、災害時の停電下でも製品の保存や管理を継続できるよう、BOS仕様CGSを導入することで物資提供を可能とし、さらに帰宅困難者受入施設としても協定を締結した北茨城市にとって初めてのケースとなった事例となります。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS 390kW×1台

補助金額：47,405千円(補助率1/2)

災害時の設備用途：【給電】構内照明、共用部(コンセント利用・空調)、受水槽ポンプ(受水タンクから送出し飲料水等で使用)、製造設備(ハム・ソーセージを製造し、避難者へ提供)
【温水】ボイラ給水加熱、製品製造用温水
【蒸気】製品製造プロセスへの供給(ハム・ソーセージを製造し、避難者へ提供)

対象施設	避難所面積	供給方式
帰宅困難者受入施設等	265㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

浅草ハム株式会社 関東工場 管理部部長 柴野泰 様

当工場は、東日本大震災で停電を経験いたしました。

当時は、冷凍・冷蔵設備が稼働できず、大きな損害を被りました。そのような経験もあり、非常時の電源確保について検討をしていたところ、ガス会社より、本事業の提案を受けました。2020年度に重油焚きから都市ガスボイラーの燃料転換を行っており、そこから都市ガスの利用を始めております。ボイラーの燃料転換に続き、CGSの導入によって環境負荷低減が図れるだけでなく、勘案事項であったBCP対策もおこなえ、更には災害時、近隣住民の皆様の助けにもなることができるというものでした。

本事業の実施に向け、当社より北茨城市に対し、近隣住民の皆様に当工場で製造・貯蔵している製品と一時避難所としての環境を提供する提案をさせていただきました。物資提供の協定を締結している事例は多々あったようですが、物資提供と被災者の受入れの両方で協定を締結している事例が無かったようで、大変喜んでいただくことができました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

災害時(停電時)のイメージ



停電時に稼働するCGSの導入により、製造ライン及び冷蔵設備等の機能維持が可能になっています。食料(工場製造のハム等)の物資提供協定も締結しており、工場機能の維持が可能になっていることで、1日1000人分の食料を提供できます。

避難スペースとしては食堂や会議室を提供し、発電機からの電力供給により空調・照明・コンセントの使用ができます。また、工場敷地内に自動車100台の受入れも可能となっており、自動車内の避難者も、トイレ等を使用することができます。

協定概要

北茨城市とは「災害時における一時避難所等の提供に関する協定書」を締結(令和4年1月)、地震、風水害、その他の原因による大規模な災害が発生した場合の、住民の安全を確保を目的とし、一時的な避難場所として開放する施設について、およびトイレ・水道水・空調・照明・電源等の提供や、救援物資の提供について定めております。

社会福祉法人グランはりま

特別養護老人ホームグランはりま／兵庫県加古川市

社会福祉法人グランはりまは、加古川市で特別養護老人ホーム・グループホーム・保育園を運営されている法人です。平成16年、国道2号線に面した活気のある地域に開設されており、「その人なりの理想の実現」「わが家と同じように」を目指し、全館を個室としたきめ細かなケアサービスと、地域交流スペースを設け世代を超えたふれあいを創出する地域への貢献を目指した新しいカタチの特別養護老人ホームとなっております。

昨年補助金を活用し、従来の設備を災害時にも強靱性の高い都市ガス停電対応型の設備に更新することで、更なる地域貢献の実現が可能となりました。



外観

補助事業の概要

■導入設備：停電対応型CGS35kW×1台、標準型GHP969.5kW(計16台)

■補助金額：27,992千円(補助率1/3)

■災害時の設備用途：[給電] GHPへの給電
[空調] 1・2・3Fの共用部・個室・事務所等

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	3,879㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

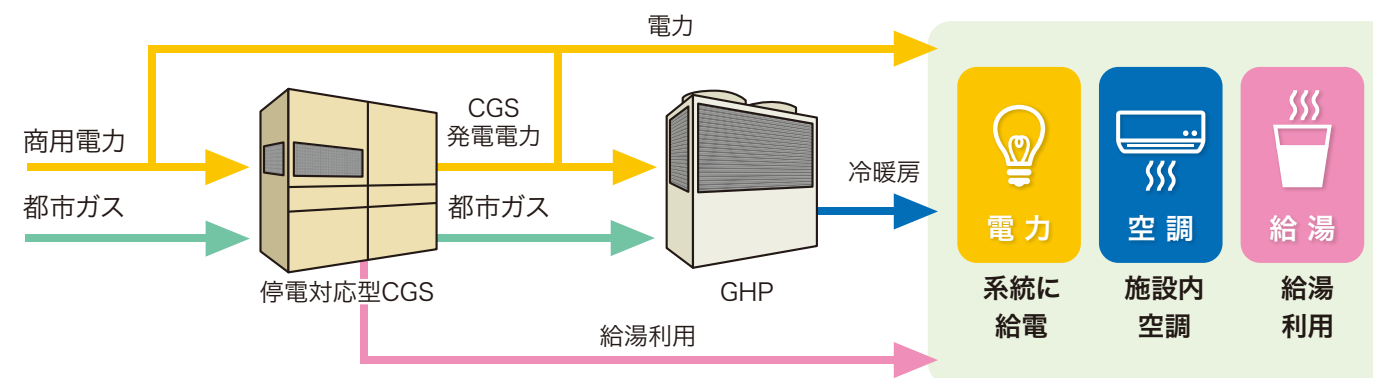
社会福祉法人グランはりま 事務長 佐伯 英治 様

開設から18年を迎え、既存設備(BOS機能無しのガスコージェネレーションCGS・ガス空調GHP)の更新を検討していくなかで、近年の自然災害の状況等を鑑み、当施設をご利用いただく皆様にとって、安全・安心な施設となるような設備への更新が不可欠であると考えておりました。また、社会福祉法人といたしましても、加古川市及び播磨町地区の皆様に対して、福祉避難所として従来設備より強靱化を図ることで、より自然災害時に貢献できる施設にしたいという視点で検討をいたしました。

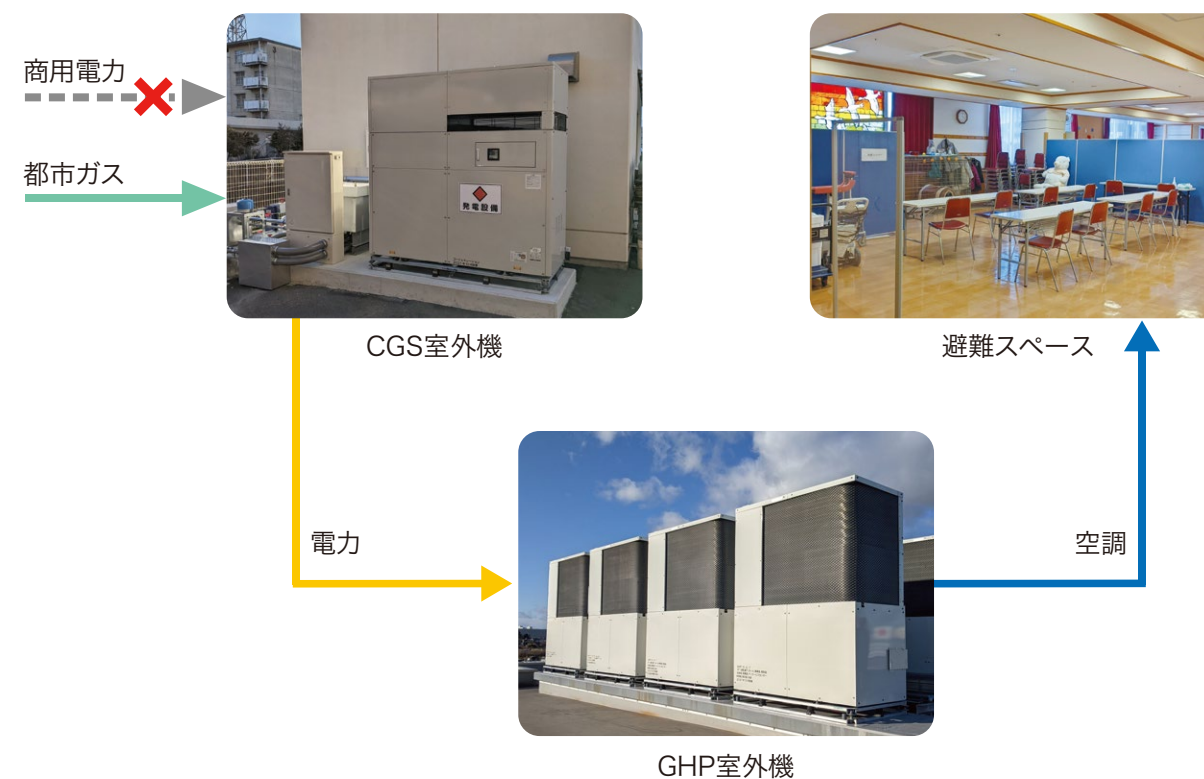
そのような考えから、2020年度に、補助金を活用してコスト削減と施設の災害対応強化を図ることができないかをガス会社に相談いたしました。その結果、本補助金を紹介していただき、本補助金を活用した設備改修で法人内の決裁に至りました。補助金を活用するにあたり、更新時期や工事スケジュール等の調整が必要でありましたので、早々に法人内で申請に向けた協議を開始し、約1年の準備期間を経て本補助事業の実施となりました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

平時 ☒ CGSで作られた電力は系統と連携し、ピーク時のデマンドを抑制
排熱は給湯負荷が大きな福祉施設で効率的に利用



停電時 ☒ 停電時も稼働が可能なCGSでGHPに電力を供給



協定概要

加古川市とは「福祉避難所の指定に関する協定書」を締結(平成25年2月)、播磨町とは「災害時に福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」を締結(平成25年6月)し、地震、風水害、その他の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、施設等を利用することについて定めております。

学校

学校法人日向学院

日向学院ドミニコ・サビオ会館／宮崎県宮崎市

日向学院は、ドン・ボスコの志を継いだヴィンセンチオ・チマッティ神父によって、1946年ここ宮崎の地に創立され、2021年に75周年を迎えました。

「信・理・愛に基づく予防教育の実践」「家庭的精神に立った教育共同体の形成」「知・徳・体のバランスのとれた教育の実践」の教育の3つの柱、キリスト教の精神に立った人間教育、グローバルな視点を育てる教育を教育理念とした、中高一貫教育を実践しており、社会の様々な分野で活躍・貢献する人材を輩出しております。

従来より指定避難所として提供していた施設のレジリエンス向上を目指した事例となります。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×2台

補助金額：6,533千円(補助率1／3)

災害時の設備用途：【給電】1F食堂・2F美術室 照明・コンセント
【空調】1F(食堂、売店、面談室) 2F(美術準備室、大教室、美術教室)

対象施設	避難所面積	供給方式
指定避難所	541㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

学校法人日向学院 法人統括部長 藺田 朝武 様

当校は以前より災害時の避難所として位置づけられておりました。しかしながら、避難所として使用する施設には発電機もなく、災害時の停電下では、避難される地域の皆様に良い環境を提供することは望めませんでした。そこで、以前より停電が起きた際を想定し、発電機等の設備の導入を検討しておりました。一方で、空調設備の老朽化も進んでおり、こちらも検討事項となっておりましたところ、ガス会社よりこの補助金を活用した空調機更新の提案をいただきました。

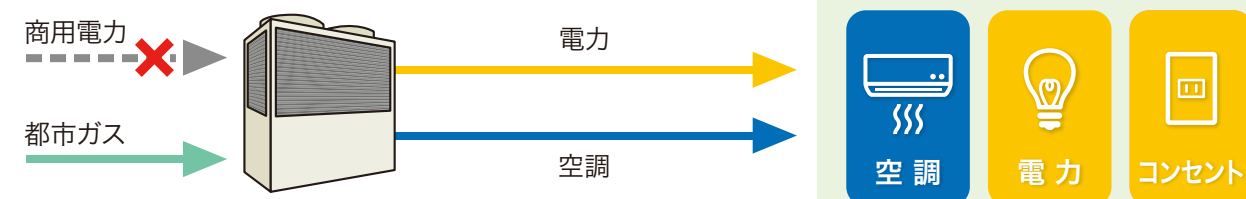
停電時での照明やコンセント、空調機器の使用が可能となることで、施設としての災害時の強靱化が図れるうえ、コストを抑えられることは大きなメリットでもありました。また、災害時の都市ガス供給についても、ガス会社より説明をいただき、安心して導入を決めることができました。

今回の設備更新により、従来に比べ、避難される地域住民の皆様に掛かる負担を大幅に軽減できるのではないかと考えております。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

平時 ☒ 通常のGHP空調機として使用

停電時 ☒ 空調機+避難スペースの照明・コンセントへの電力供給



ドミニコ・サビオ会館



避難スペース



GHP室外機



GHP室内機 / 照明



コンセント

協定概要

日向学院は、従来より宮崎市の指定避難所として登録されており、学院敷地内各ゾーンに役割が設定されております。本事業完了後に市の現地確認が行われ、事業者様より、今回採用された停電対応型GHPでのシステムの説明がされました。市からも、指定避難所のレジリエンス向上に関して、ありがたいとの言葉をいただいたそうです。

社会福祉法人福成会

塚口福成園／兵庫県尼崎市

社会福祉法人福成会は兵庫県尼崎市で障害福祉サービスを運営している法人です。塚口福成園は障害などの理由により、一般企業での雇用が難しい人たちが支援を受けて働き、社会参加を実現している多機能型の知的障害者通所支援施設です。

地域社会の一員として主体的に行動し、自己実現を目的に福祉的就労を通して社会参加を実現しています。得意なことに着目し、それを活かした作業内容を提供しています。

今回、補助金を活用し従来の設備を災害時にも強靱性の停電対応型の設備に更新することで、更なる地域貢献の実現が可能となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型GHP 56kW×4台、標準型GHP 35.5kW×1台
- 補助金額：8,868千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途：[発電] 1F(全フロアー)・2F(ホール除くフロアー)の照明・コンセント
[空調] 1F(男女トイレ除くフロアー)・2F(ホール・男女トイレ除くフロアー)

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	740㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人福成会 塚口福成園 所長 森 康祐 様

現在使用中の空調の更新時期が近づいていて、10年以上経過していることもあり度々故障することが多くなっていました。そのような中で、ガス会社から補助金を活用した提案を受けました。翌年度の補助金スケジュールに合わせて準備することになり、補助金でコストを低減できるのであればということで申請をしました。

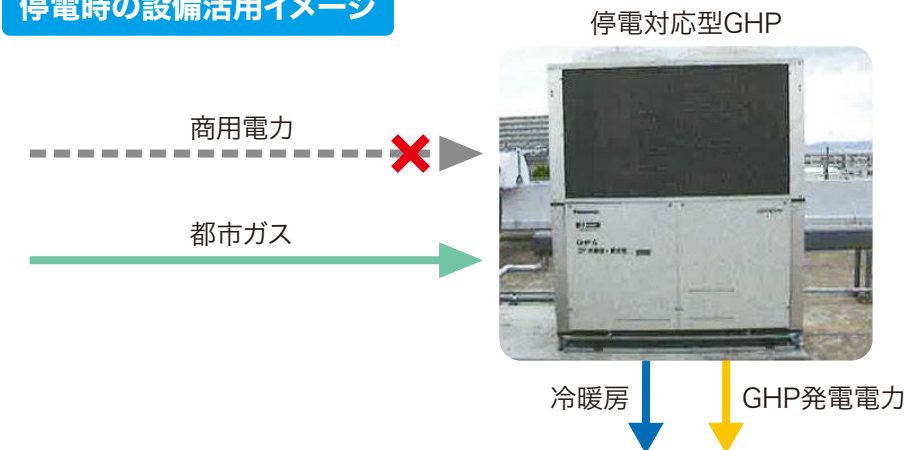
行政からの福祉避難所として協力要請もあり、従来から地域の自治会の集まり等で当事業所を開放するなどして地域貢献をしてきたため、福祉避難所として、行政と協定を締結しております。

今回停電対応型の都市ガス設備を導入する決め手として、実際に災害が発生した場合の環境面を考えた時に、今回の補助金で停電時に稼働できる設備の導入をすることは費用面でもコストが抑えられるところはプラスになると考えました。

停電対応型の都市ガス設備は、補助金対象となることから、信頼できるものであると感じております。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

1F食堂



2Fホール



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調／照明



コンセント

協定概要

尼崎市とは「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結（令和元年12月）。市から要請があれば福祉避難所として開設し、施設は災害時でも照明、空調等が継続利用できる計画となっています。

社会福祉法人神港園

さん舞子神港園／兵庫県神戸市

神港園の理念であり、私たちの活動の原点は「自分がして欲しいと思うことをひとにしてさしあげましょう」という黄金律です。いつどんな時でも「今こうして欲しい」と思ったことをしてもらえ、安心感。そのような暮らしの実現に向けて、日々質の高いサービスの提供に努めています。

さん舞子神港園では事業目標として「自己決定を尊重した笑顔の発信地舞子」を掲げています。計画停電の訓練では発電機が稼働し、冷暖房が効いて電灯やテレビがつき、包括的継続的支援の実践を地域に向け発信する中で、本当に安心できる施設環境整備ができたことは大きな地域貢献だと思っています。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型GHP 56kW×4台
標準型GHP 28kW×1台、56kW×1台
- 補助金額：5,611千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途：[発電] B1Fホールへ給電(コンセント利用)、
1F・2F・3Fリビング・ダイニング(コンセント利用)
[空調] 1F・2F・3Fリビング・ダイニング

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	1,167㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人神港園 さん舞子神港園 高屋 純子 様

使用中の空調機の更新が必要な時期が来ており、電気及びガス会社から複数の提案を受けました。福祉避難所の指定も受けている点、当施設の入居者の安全確保と両方の観点から、停電時に稼働し更に余剰の電力も活用できることは非常に大きなメリットでした。

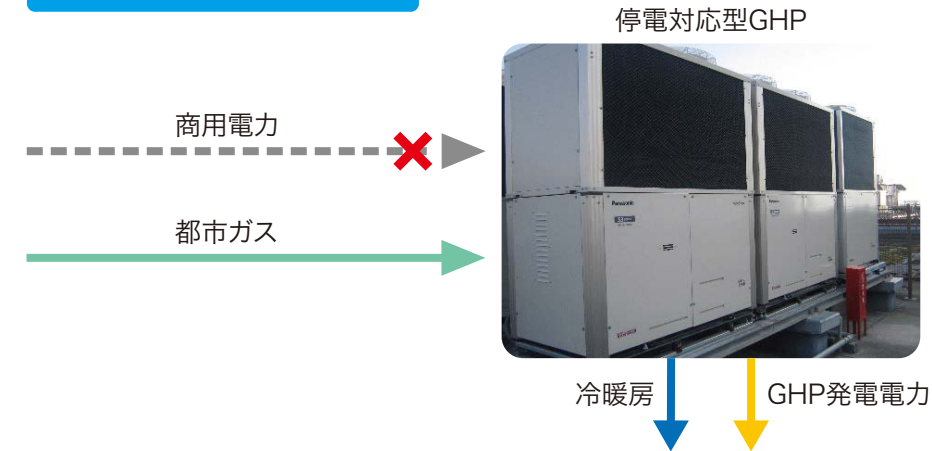
地域の中で長年活動させていただく中で、地域ボランティアの方、近隣の方や自治会の方との交流も多く、地域貢献の1つとして施設を開放しご利用いただいていたこともあり、互助、共助を更に進めていきたいと考えていました。また、当施設の管轄自治体では老人福祉施設連盟を通じ行政との繋がりもあり、社会福祉法人としての社会貢献事業の1つと考えておりました。

補助金導入以前より、当施設の管轄自治体では老人福祉施設連盟を通じ福祉避難所として登録をしていましたが、実際に災害が発生した場合受け入れるための設備が不十分であるという認識がありました。今回の補助金活用により、空調や予備電力が活用できることはこれまでの不安材料が解消でき大きく前進し、また、補助金を活用させていただくことでコスト面の問題も同時に解消できるメリットがあり導入に至りました。

神戸淡路大震災の経験から都市ガスの地震への耐久性には若干不安がありましたが、反対に大震災後のガス管の耐震性強化や導入事例の紹介を知り、信頼性と実績に安心感を覚えました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

1Fリビング・ダイニング



2Fリビング・ダイニング



3Fリビング



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント

協定概要

神戸市とは「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」に基づき、災害時の福祉避難所として指定されています(令和3年3月)。災害時には施設の1～3階のリビング・ダイニングの空調、コンセントが継続利用できる計画となっています。

社会福祉法人リベルタ

生江特別養護老人ホーム白寿荘／大阪府大阪市

私たちは人権をキーワードに取り組みを進め「すべての人々が自分の生き方を自分で決めることができる」といった基本的なことが実施できるように支援をすることを法人理念に置き、社会福祉法人を20年前に設立しました。

現在、老人福祉・障がい者福祉・地域福祉に力を入れておりますが、今後も増加することが予測される認知症高齢者の方への支援、そしてそのご家族の想いに応えられる施設や事業所を展開していきたいと考えています。

全ての福祉事業において、その方の尊厳を守ることを第一に考え、それらを守る職員育成を図り、認知症ケアでは、常に認知症を患っている人の立場に立ち、ご利用者はもとより、ご家族の意向も尊重します。認知症をよく理解し、画一的な介護は行わず、その時の状態に応じた最適な介護で、心の安定と安心を提供する施設運営を提供させていただきます。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 30kW×1台、標準型GHP 85kW×8台
- 補助金額：24,278千円(補助率1／3)
- 災害時の設備用途：[給電] 停電時の避難スペース空調系統への給電、および一部コンセントへの給電
[空調] 停電時の避難スペース空調機能維持

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	3,494㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人リベルタ 生江特別養護老人ホーム白寿荘 山口 昌宏 様

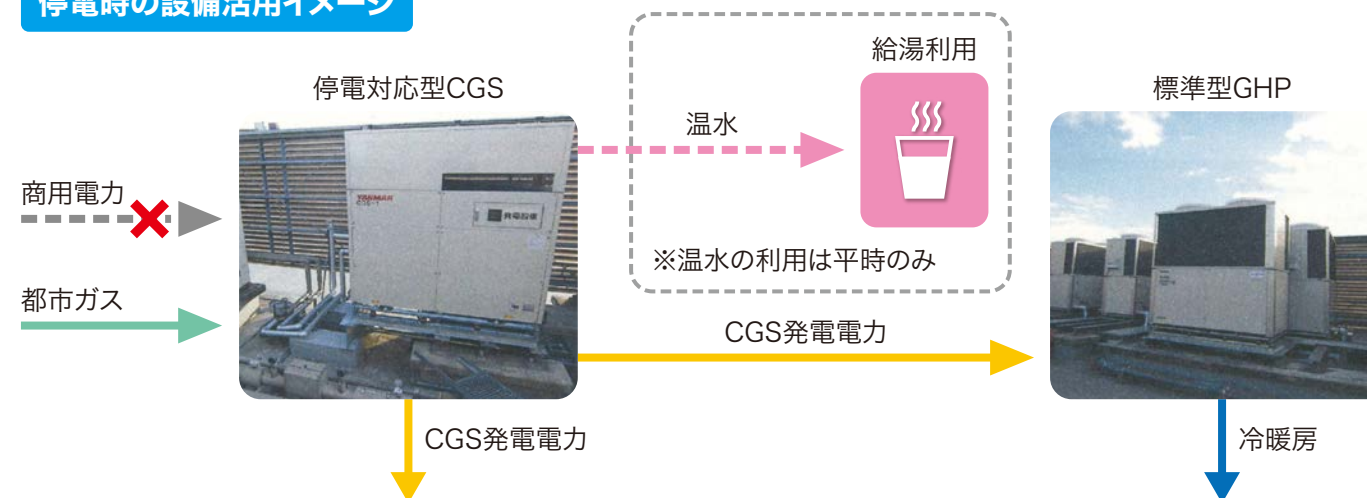
白寿荘では、災害時の避難所として活用される国や自治体の防災計画指定の施設として、国や自治体と協定を締結しています。地域住民の方に空間等を提供する施設として、地域と共に災害へ立ち向かう体制を整えていきたいと考えております。

その実現に向けて、かねてよりBCP対策についてハード・ソフトの両面で強化を図っており、ソフト面では非常時の運用方法やスタッフの役割分担に関するマニュアルを作成し、災害時の想定に則った訓練を徹底してまいりました。今回ハード面の強化として既存設備の更新を検討していたところ、ガス会社から当該補助金を活用した設備更新についてご提案いただきました。既設CGSを停電対応仕様へ更新し、給電先をGHPに選定することで、停電時に空調機能を維持できること、さらに補助金でイニシャルコストを軽減できることに魅力を感じ、補助金を活用した設備更新を決定しました。その際、補助事業の申請条件に「耐震性を向上させた低圧導管」があることから、ガス配管の耐震性が向上しているということを知ることができ、都市ガス設備への信頼度がより高まりました。

白寿荘では、地震等の災害があった際に福祉避難所となり、地域の要介護者及び高齢者に対して緊急入所施設として地域の皆さまに貢献するために、今後もBCP対策の強化を図ってまいります。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

2階食堂コーナー



4階食堂コーナー



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント

協定概要

旭区とは「旭区における災害時に福祉避難所等として介護・高齢福祉施設等を使用することに関する協定書」を締結(平成24年12月)。「福祉避難所」及び「緊急入所施設」として使用することの協力要請について定めています。避難スペースでは、空調、一部コンセントの継続使用ができる計画となっています。

社会福祉法人晋栄福祉会

特別養護老人ホーム宝塚ちどり／兵庫県宝塚市

社会福祉法人晋栄福祉会は、大阪府・兵庫県・奈良県で特別養護老人ホームの他、高齢者施設や保育園を運営する法人です。

宝塚ちどりは平成17年10月に開設され、「一日一日を楽しく、自分らしく生きたい」私たちはその気持ちを大切に、快適に暮らすためのお手伝いをしていきます。宝塚ちどりでは、すべての高齢者が安心して生活できるような社会を作ることを社会的使命として捉え、職員が一丸となって取り組んでいます。今回、補助金を活用し、従来の設備を災害時にも停電対応型の設備に更新することで、福祉避難所としての強化が図られ、更なる地域貢献の実現が可能になるのではないかと考えています。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 35kW×1台
停電対応型GHP 56kW×3台、
標準型GHP 18kW×3台、45kW×3台、56kW×1台、85kW×2台
- 補助金額：25,000千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途：[発電] 標準型GHP×9台へ給電
[温水] 給湯利用
[空調] 1F東側共用部廊下・事務室・相談室等、5F共用スペース・エレベーターホール前廊下各階 停電対応型GHP使用箇所以外の共用部

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	2,992㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人晋栄福祉会 特別養護老人ホーム宝塚ちどり 阪上 知之 様

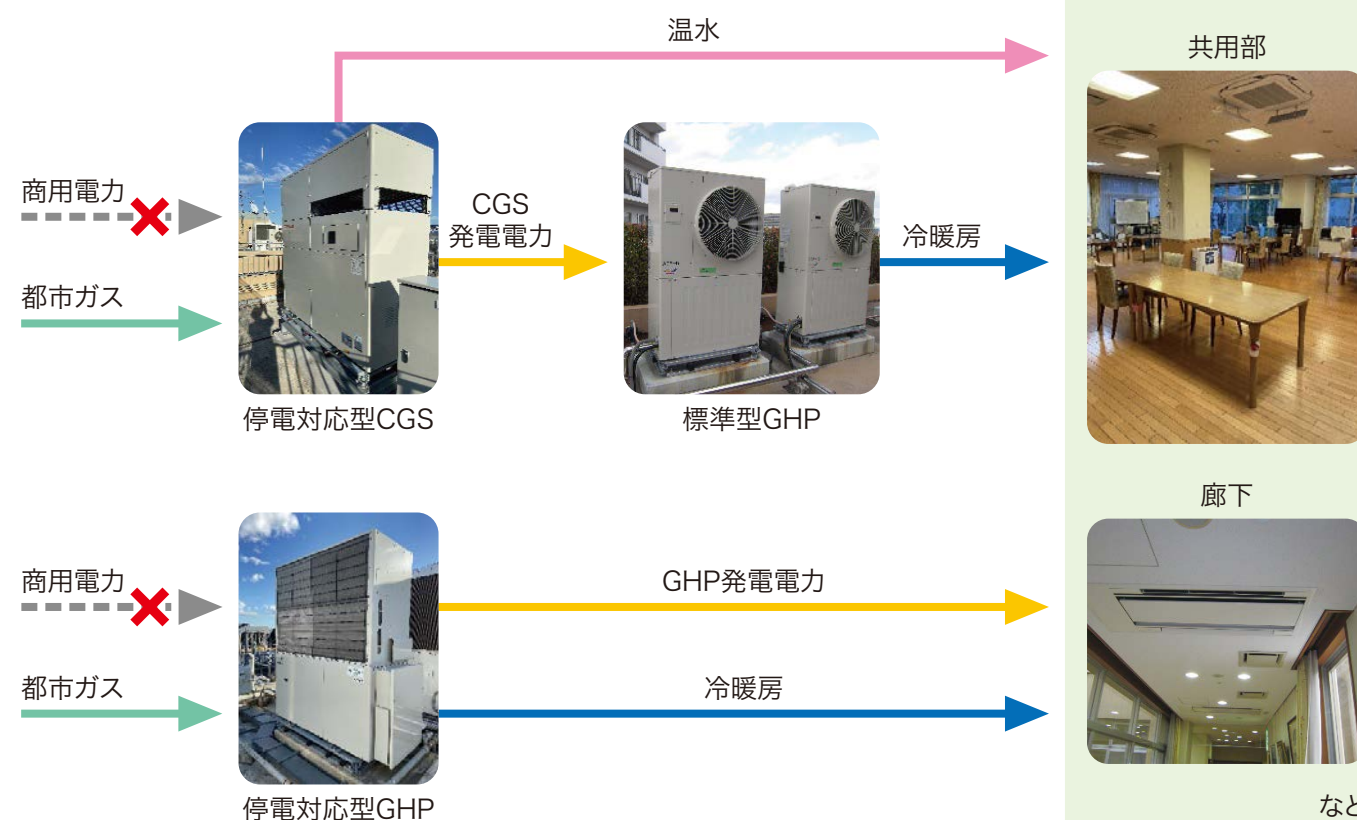
現在使用中の空調機の更新を検討している中で、ガス会社から補助金を活用した提案を受けました。既存と同じ設備への更新ではなく、停電時に稼働できるようになるのは大きなメリットでした。提案を受けたうえで翌年の補助金のスケジュールに合うように準備をすることになりました。

当施設でも災害時に地域の役に立てればと考えており、そのタイミングで行政から声がかかり協定を以前に締結しました。今回の補助金を活用し、停電時に空調やコンセントが使える施設になることで、避難所として更なるお役に立てると思い、今回の補助金申請を行いました。

従来から災害時の避難所として協定は締結していましたが、避難所で空調が使えない・照明がつかない等停電した場合の状況をニュース等で知り、実際に災害が発生した場合のことを考えると、不安がありました。今回の補助金で、停電時に稼働できる設備の導入のコストを抑えられるのは、費用面での問題を解消できるため、導入のチャンスと考えました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

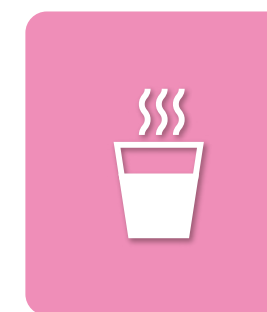
停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



給湯

協定概要

宝塚市とは「宝塚市福祉避難所の指定、開設及び管理運営に関する協定書」を締結(平成25年4月)。宝塚市の区域において大規模な地震、風水害その他の災害が発生した場合には、当該施設を福祉避難所として利用することについて定めております。

日本碍子株式会社

名古屋事業所熱田地区／愛知県名古屋市

日本ガイシは1919年の設立以来、独自のセラミック技術を駆使し、社会課題を解決する画期的な製品を数多く提供してきた総合セラミックメーカーです。

エネルギー、モビリティ、IT、産業分野を事業の柱とし、世界20カ国以上で活動しています。

持続可能なエネルギーインフラを構築する大容量蓄電システムや世界のIoT化を支える小型・薄型のリチウムイオン二次電池を提供しているほか、自動車排ガス浄化用セラミックスの大手メーカーとして、地球環境への負荷低減に積極的に取り組んでいます。

日本ガイシは、カーボンニュートラルとデジタル社会の2分野に革新的な製品やサービスを提供し、新しい価値の創造と持続可能な社会の実現に貢献していきます。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 1,000kW×1台
- 補助金額：114,740千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：[発電] 本社棟1階、2階等、ロビー、会議室、共用部(コンセント利用)

対象施設	避難所面積	供給方式
帰宅困難者受入施設	4,574㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

日本碍子株式会社 GEセンター 渡邊 大吾 様

BCPを検討する中で弊社では、災害時に1週間の停電と復電後の長期間の計画停電を想定しており、災害に強い中圧Aのガスを使用したコージェネレーション設備を有効なBCP対策として導入する事を決めました。

機器選定をしていく段階でガス会社等から補助金の情報を得て、補助金の制度(複数年)と設備投資のタイミングがマッチし、イニシャルコストを抑えて設備導入が出来る為、補助金応募に至りました。

当社は元々自治体と災害時の応援協定は結んでいましたが、コージェネレーション設備を導入する事で帰宅困難者を受入れ、さらに地域貢献が出来るという提案を自治体にすると、主要な駅の近くで一般企業が避難所となる事を非常に歓迎されました。

今回の設備導入に際し、以前はガスも電気と同様に災害時は使用できないイメージでしたが、都市ガスの方が電気より信頼性が高い為、停電対応型の都市ガス設備による発電を災害時の有力なBCP対策としています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ

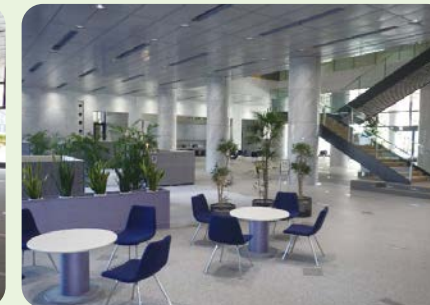


避難スペース(一例)

1階 エントランス



1階 ロビー



2階 大会議室

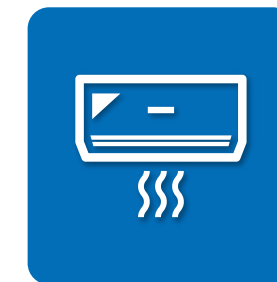


など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



照明



空調



コンセント

協定概要

名古屋市とは「帰宅困難者の受入に関する協定」を締結(令和5年1月)。災害の発生時に当該施設を帰宅困難者受入施設として利用することについて定めております。

社会医療法人杏嶺会

一宮西病院／愛知県一宮市

法人理念である「街と人が明るく健康でいられますように」、職員の行動と意識の指針のうち「地域との密接な連携を大切にします」、「24時間365日、いつでもどんな怪我や病気も断らない」という基本方針のもと、この度地域のあらゆる医療ニーズに対応するため、既存施設に隣接する土地に増築し診療機能の拡張を図り、災害にも強い病院機能を確認するため強靱性向上に資する天然ガスコージェネレーションシステムの導入のみならず、その他のライフラインの増強（自家発電装置・飲料水の確保等も含めた大幅な機能の拡張）を実施しました。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS 35kW×6台

補助金額：52,897千円(補助率1/2)

災害時の設備用途：【発電】 レストラン・イートインスペース系統のコンセント・照明・空調、厨房、トイレへ給電
※一時避難場所の避難者へ飲食物の提供、トイレ貸し出しのために厨房、トイレへ給電
【温水】 空調、給湯利用

対象施設	避難所面積	供給方式
避難場所	444㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会医療法人杏嶺会 法人本部購買部 購買第一課 長谷川 英幸 様

新しく病院を建設する計画があり、その際に病院の防災レジリエンス向上のために停電対応型のCGSの導入を検討。検討する中でガス会社から補助金の紹介を受け、常時の電力デマンドカットに加え、停電時の電力供給を可能にできるCGSを補助金によりコストを抑えて導入できるのであればと補助金を活用することに至りました。

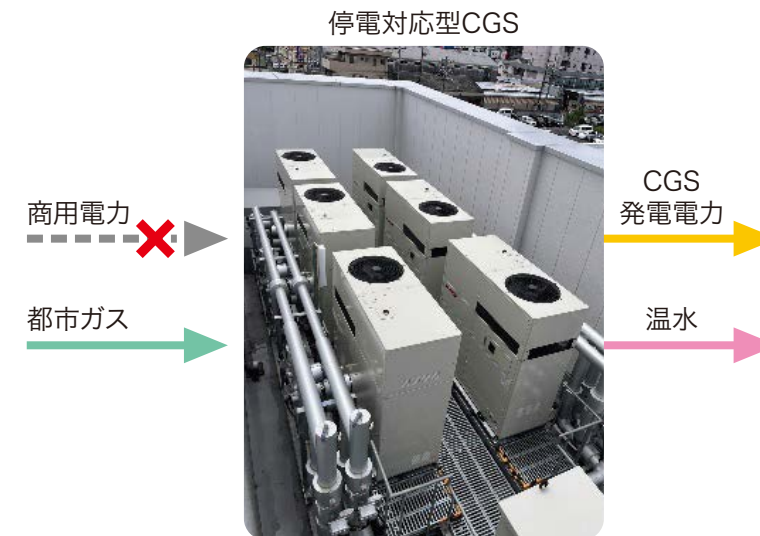
有事の際に病院としての機能維持を前提としながら近隣の住民の方に対して何か役に立てないかと考えていました。新病院の建設のタイミングで今回の補助金を活用し、地域の方の一時的な避難場所として場所を提供すること、空調や一部電気を使用できる場所を整えることで避難場所として地域の方に貢献ができると思い、行政に協定を提案しました。行政側も避難場所が増えることに好意的な印象で前向きに話を進めることができました。

既存の病院でもCGSはすでに導入していますが、停電対応型のCGSではないため、停電時は稼働が難しい状況にあります。昨今の災害事例を考えると、地震も多いですが、台風による風水害も多く発生していることから、電気の供給が止まってしまうリスクもあると考えています。そこで新病院建設の際には常用でも使用+停電時にも稼働し、電気の供給が可能な停電対応型CGSの導入は必要だと思いました。

都市ガス設備は、エネルギー多重化の1つを担う重要な設備であると認識しています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

レストラン



イートインスペース



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント



トイレ



給湯



物資提供

協定概要

一宮市とは「災害時における支援の提供に関する協定書」を締結(令和5年2月)。大地震や台風などの大規模な災害の発生時及び災害発生のおそれがある場合に、当該施設の一部を避難場所として利用することについて定めております。

学校法人尽誠学園

尽誠学園高等学校 体育館練習室／香川県善通寺市

尽誠学園高等学校は1884年(明治17年)、忠誠塾として創立した四国で最も歴史のある私立学校です。校訓「愛・敬・誠」の生活実践を通し、「知・徳・体」のバランスの取れた全人教育を目指しています。また、「光れ個性、伸ばせ特性、熱中尽誠」を合言葉に、生徒一人一人の個性と可能性を生かすため、普通科の中には特別進学コース・進学コース・アスリートコース・アビリティコースを設置しています。今後とも、生徒それぞれの特性を伸ばし、個性を尊重したきめ細かい指導を行って参ります。



外観

補助事業の概要

- 導入設備: 停電対応型GHP 56kW×1台
- 補助金額: 2,350千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途: [発電] 体育館練習室(非常用コンセント利用)
[空調] 体育館練習室

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	300㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

学校法人尽誠学園 尽誠学園高等学校 神崎 佳久 様

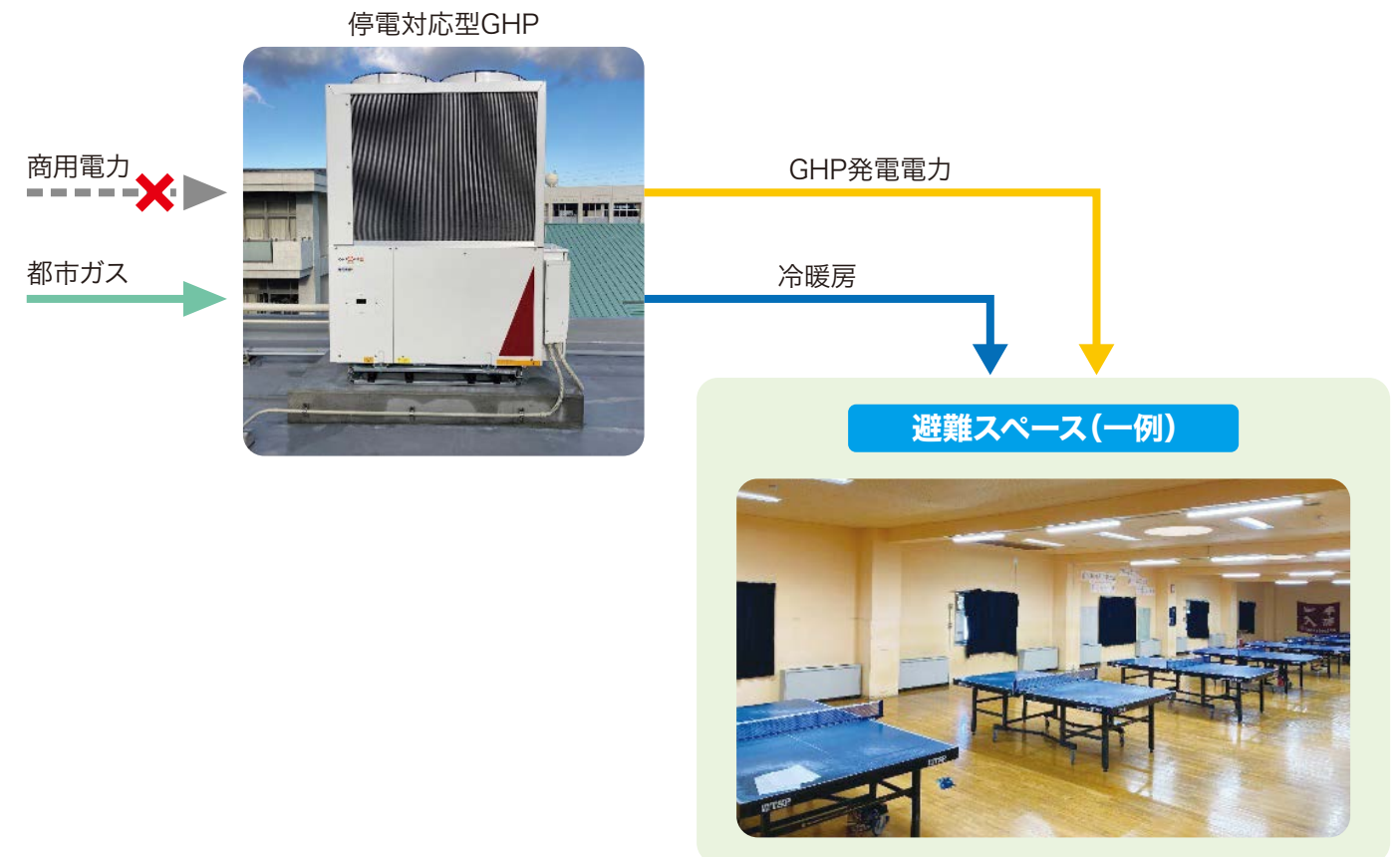
体育館練習室の既存EHP更新(10馬力2台)を検討していたところ、ガス会社から本事業の提案を受けました。EHPとGHPの比較資料をもとにGHPメリットを説明して頂き、初期投資軽減、ランニングコスト、ライフサイクルコストの観点から停電対応型GHP(20馬力1台)を導入しました。

停電対応型GHPは停電時でも空調と電気が使用できるため、二次災害防止(熱中症対策等)及び避難所機能向上(携帯電話への充電等)が期待できます。また、ガス会社からポリエチレン管の普及状況や耐震性、同管埋設が補助金申請条件であることを教えて頂き、ポリエチレン管への信頼性も向上しました。

善通寺市様からは、「避難所として利用する場合に、空調機や非常用コンセントが設置されたことはありがたい。」とコメントを頂いており、微力ではございますが地域貢献の一助を担えることができ大変光栄に存じます。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調設備



コンセント

協定概要

善通寺市とは、「災害発生時における補足的避難所の設置運営に関する協定書」を締結(令和3年4月)。善通寺市内に大規模な地震、風水害及びその他の災害が発生した場合には、当該施設を避難所として利用することについて定めております。

太田市／地方公共団体

西部消防署／群馬県太田市

太田市は、群馬県南東部に位置し、輸送機器産業が盛んで製造品出荷額等は北関東1位を誇り、農業産出額においても県内有数を誇る、農工業ともにバランスのとれた産業形態となっています。市のほぼ中心には、まちのシンボル「金山(かなやま)」とそれに連なる八王子丘陵、東には渡良瀬川、南には雄大な坂東太郎利根川が流れ、水と緑に恵まれた自然豊かな土地柄です。

本事業では、災害時の活動拠点となる消防署において停電対応型GHPを設置しました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型GHP 56kW×3台
- 補助金額：15,230千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：【発電】給湯器電源・1階男女WC・2階男女WCの自動洗浄、自動水栓、換気扇、照明及び1階廊下・2階厚生室のコンセント
- 【空調】1階・2階の空調

対象施設	施設面積	供給方式
地方公共団体施設	638㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

太田市消防本部 消防総務課 様

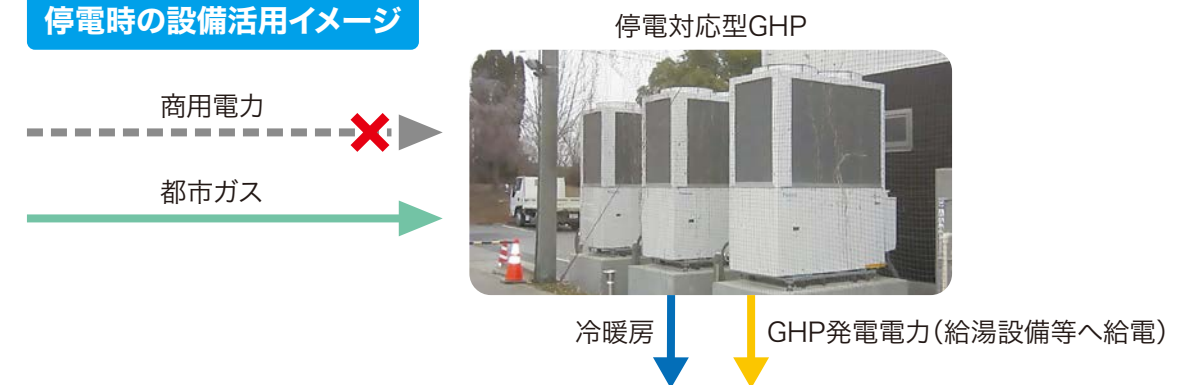
消防署の建替えにあたり、建設費の高騰が止まらず建設コストを抑える手段を探すなか、近くまで工業用都市ガス配管が敷設されており、建築部署の提案もあったので、今回補助金を活用して停電時対応型GHPを導入することに決めました。

停電時にも消防の機能維持が可能となり、災害時の活動拠点である消防署機能を充分発揮することは、地域住民の安心につながります。「人と自然にやさしく品格のあるまち太田」を将来の都市像として掲げ、様々な施策を実行中ですが、安心して子供を育て、すべての市民が安全に暮らせるように、市民満足度の向上へとつながる事業、また、災害レジリエンスの更なる強化を図ることができた事業であったと考えます。

都市ガス設備の災害時の信頼性について、今までイメージはありませんでしたが、この事業の実施にあたり新たに知ることが多く、台風や豪雨に強い地中の埋設配管にあっては、東日本大震災クラスの地震にも耐え得ること、更には腐食などに強いポリエチレン管への取替えを進めていることなど、災害時の安定供給へ向けた取組みに感心し、都市ガスは災害に強いインフラであることを知りました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



施設スペース(一例)



災害時にも施設で活用可能な設備等



協定概要

太田市の地域防災計画では、消防本部は119番通報による災害情報を取りまとめるほか、必要に応じ消防職員を現地に派遣して情報の収集にあたることと定められています。情報収集部署の1つが当該部署(西部消防署)であり、今回停電対応型の都市ガス設備を導入したことで、停電時にも空調、照明、トイレや給湯器が継続利用できる計画となっております。

ホテル

アパホテル株式会社

アパホテル〈富山駅前南〉／富山県富山市

アパホテルは、「安心・安全・安眠」をお客様に提供することが使命であるという考えのもと、事業のみならず、事業を通じた社会貢献活動を推進しています。避難所施設等としての提供のほか、献血活動やチャリティーオークションの開催、被災地への義捐金の寄付、支援物資の提供など様々な活動をグループを挙げて行ってきました。

ホテルには天然水やレトルトカレーなどを防災備蓄しており、災害時にはポータブル電源等の無償貸出が可能です。

災害時には市民の皆様が安心して利用できる避難所としての役割を担って参ります。

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 5kW×1台
- 共同申請者：アパホーム株式会社
- 補助金額：3,857千円(補助率1／3)
- 災害時の設備用途：[発 電] 1Fを避難所とする箇所の照明、コンセントへの給電

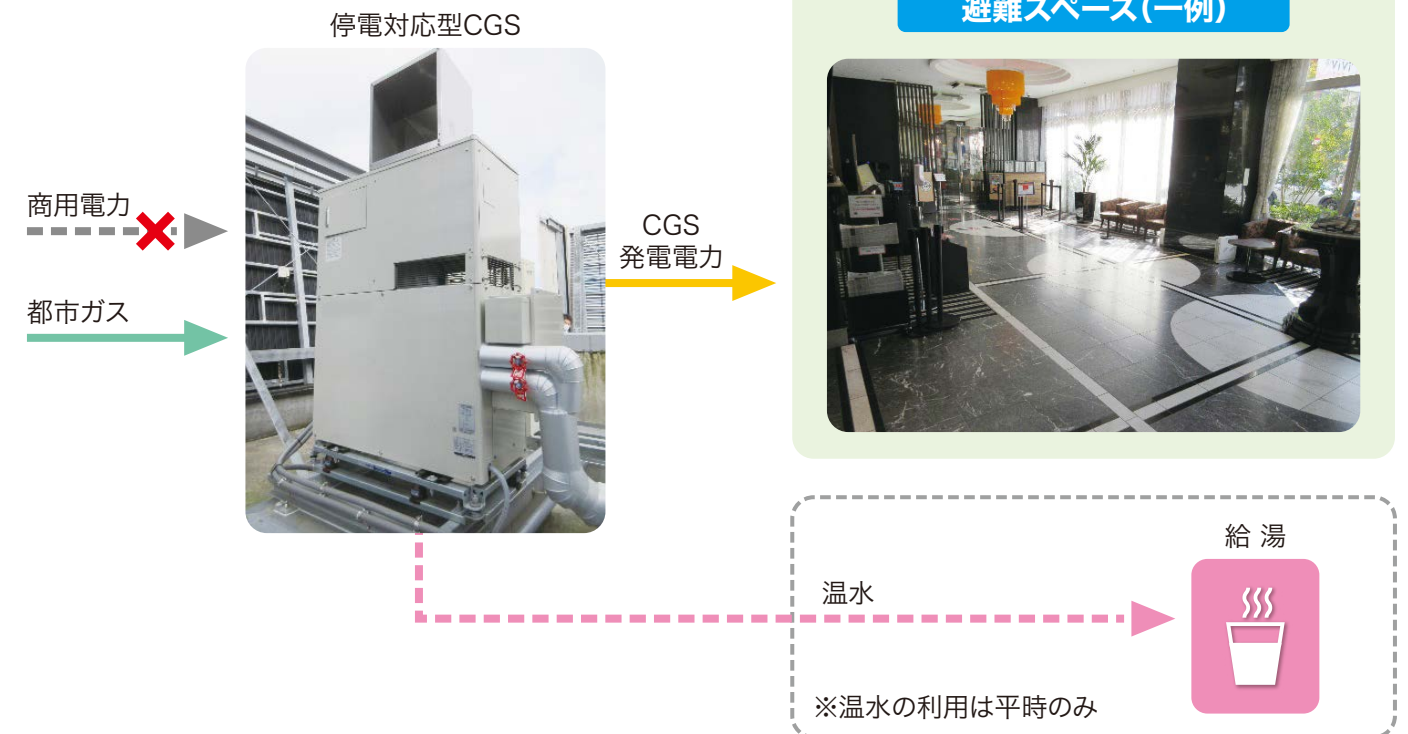
対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	80㎡	低圧



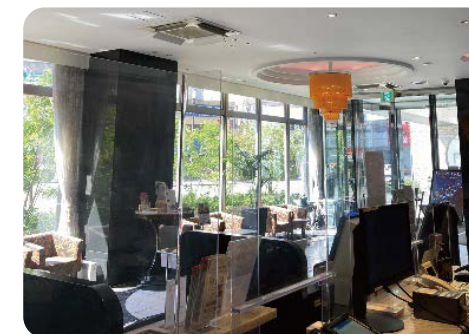
外観

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



照明



コンセント

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

APA GROUP 東海北陸 Construction Management 事業部

当社は社会インフラへの寄与を重要な経営方針の一つとしており、富山市が津波被害に対する防災対策に取り組んでいることを知り、当社が運営するホテルでも協力できることが無いのか検討を致しました。

停電対応型ガスコジェネシステムは、電力と都市ガスによる複数のエネルギーを利用することによってリスク分散が可能となるものであり、災害に強いホテル運営が可能になると考え、採用致しました。さらに、災害等による停電時に、十分な明るさの照明とコンセントからの給電が継続されることで利便性の優れた避難所を提供できることから、「富山市災害時等協力事業所登録制度」に参加しており、地域防災に貢献できると考えております。

「災害時の強靱性向上に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金」制度を活用することで、ホテル運営と地域防災拠点としての貢献の双方にメリットがあるため、今後も他施設での導入を検討したいと考えております。

協定概要

富山市との「富山市災害時等協力事業所登録制度」に基づき、防災活動にロビー共用部を無償協力する事業所として令和4年12月に避難所としての登録を行っています。災害時等において市等が行う防災活動には、この登録に基づき協力します。

実際に災害等が発生した場合は近隣の町内会等から避難所の開設要請をいただきますので、速やかに避難所を開設できるように努めます。

工場

令和3年度

強靱性
向上

一正蒲鉾株式会社

本社工場、本社第二工場／新潟県新潟市

一正蒲鉾は、食品メーカーとして、食の安全・安心を通じて豊かな食生活と健康寿命を支えるとともに、“ほんとうのおいしさ”と新たな価値の創造を目指した技術や機能性の開発・向上を進めています。また、本社工場、本社第二工場は、太陽光発電パネルの設置や本補助金を活用したCGSの導入により、環境に配慮した工場を目指しました。さらに、地震や津波等の災害発生時には、工場の一部を一時滞在施設として、地域住民の皆さまや帰宅困難者等に開放し、CGSを稼働させることにより、一時避難者に対して、照明・空調・電源だけでなく、工場で生産した製品の提供も可能とします。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 1,000kW×3台
ジェネリンク 210RT×2台
- 共同申請者：東京都市サービス株式会社
- 導入方式：エネルギーサービス方式
- 補助金額：228,970千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：[発電] 本社工場、本社第二工場(生産設備、照明、コンセント利用)
[温水] 本社第二工場空調利用(暖房)、ジェネリンク熱源利用
[蒸気] 本社第二工場生産プロセスへの供給(かまぼこ等を製造し、避難者へ提供)
[冷水] 本社第二工場空調利用(冷房)

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	2,046㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

一正蒲鉾株式会社 FAシステム部 兼 設備管理課 内田 久則 様

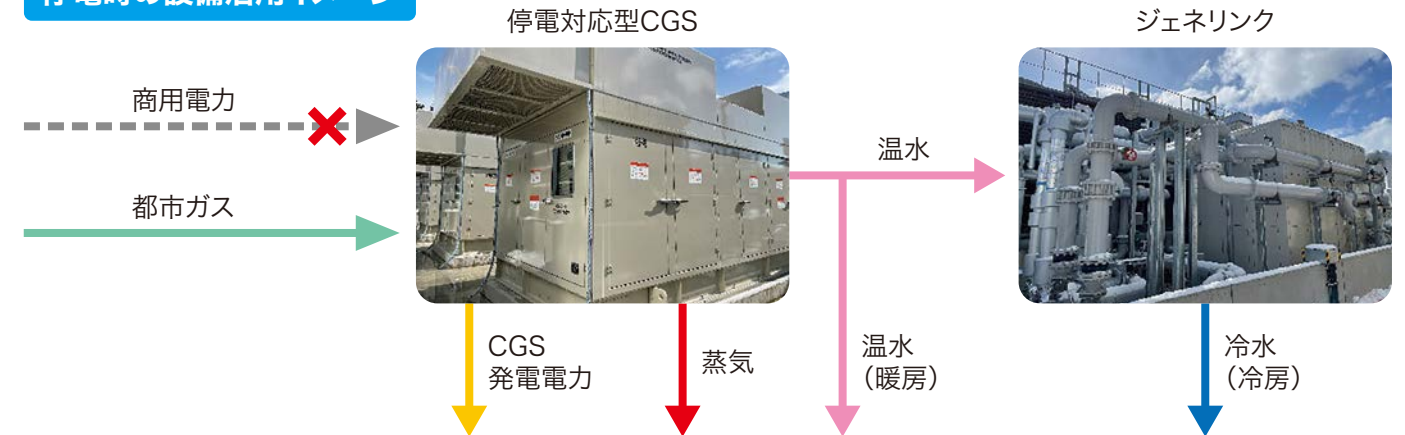
当社は、食品工場ということもあり、安定供給の観点から、有事の際にも生産ラインなどの工場の機能を維持したいという考えがありました。そんな中、本社第二工場を新設するにあたり、電力系統の余力が不足していたことがきっかけで、東京都市サービス(株)からご提案いただいた、災害時にも自立運転が可能な停電対応型CGSを導入することが決定しました。

また、地域住民の皆さまの安全確保に貢献すべく、以前より、津波等が発生した場合の避難所として、既設本社工場の屋上を提供する協定を自治体と締結していましたが、本社第二工場の新設にあたり、避難者の受け入れスペースが拡大できたことから、帰宅困難者等も対象とした協定を新潟市と締結しました。新潟市からは、「災害時の一時滞在施設の設置を進めているが、まだ不十分な状況であり、地元企業とこのような協定が締結できたことはありがたい。」と感謝の言葉をいただきました。

今回のCGS導入は、省エネ・省CO₂だけでなく、地域への貢献という点でもメリットに感じています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)



本社工場内の食堂

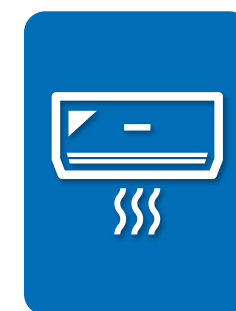


本社第二工場内の食堂

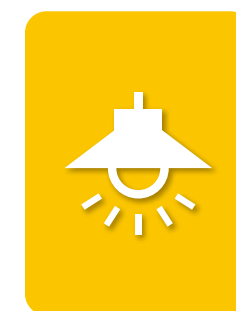


工場生産ライン

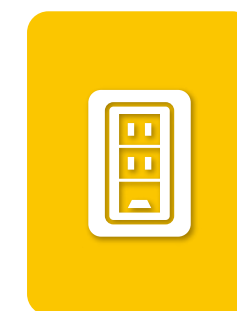
災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント



物資提供

協定概要

新潟市と「災害時における一時滞在施設等の提供に関する協定書」を締結(令和5年3月)。地震、風水害、その他の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本社工場、本社第二工場を一時滞在施設として利用することについて定めております。また、本協定書は、滞在場所やトイレ・水道・空調・照明および電源の提供だけでなく、工場で生産した製品も提供する内容となっています。

山陽小野田市／地方公共団体

山陽小野田市役所本庁舎／山口県山陽小野田市

山陽小野田市は、山口県の瀬戸内海側に位置する人口約6万人の市です。

本市では、「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」をキャッチフレーズとして、多様な担い手が協力してまちづくりに取り組む「協創によるまちづくり」による「住みよい暮らしの創造」を推進しています。

その一環として、防災体制の充実を基本施策のひとつとし、災害への対策に取り組んでいます。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×2台

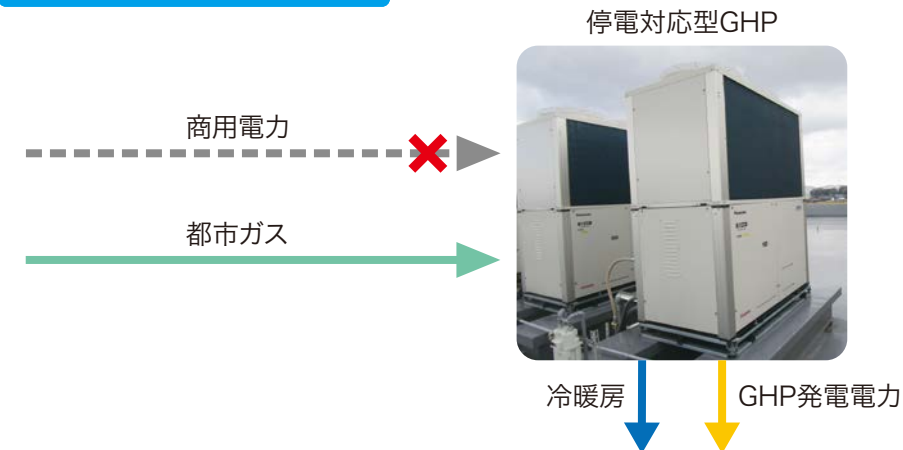
補助金額：17,742千円(補助率1/2)

災害時の設備用途：[発電] 1Fロビーコンセントへ給電、空調機へ給電
[空調] 1F及び2F共用部の空調

対象施設	避難所面積	供給方式
地方公共団体施設	1,520㎡	中圧

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

1Fロビー



2F共用部



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント

協定概要

本施設は山陽小野田市役所の本庁舎であり、災害が発生した際には災害対策本部を設置する災害対策拠点として本市の地域防災計画において位置付けられています。今回、停電対応型の都市ガス施設を導入したことで、停電時にも空調やコンセントを利用できる計画となっております。

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

山陽小野田市 総務課 田島 正秀 様

現在使用中の空調機の更新時期が近づいている中で、ガス会社から補助金を活用した提案を受けました。既存と同じ設備への更新ではなく、停電時に稼働できるようになるのは大きなメリットでした。

本施設は山陽小野田市役所の本庁舎であり、災害が発生した際には災害対策本部を設置する災害対策拠点として、本市の地域防災計画において位置付けられています。また、罹災証明の発行業務や災害対応業務を行う場所としても利用されることから、停電時にも空調やコンセントを利用できる設備を導入することとしました。ガス配管は耐震性能を有しているため災害に一定の信頼性があるので、今回は停電対応型の都市ガス設備を導入することに決めました。

医療法人社団若葉会

高重記念クリニック／富山県富山市

高重記念クリニックは、地域の方々の健康増進と健康寿命延伸のため、「医療」「予防医療」「子育て支援」「介護」の4つの事業を行っており、地域の「かかりつけ」として、社会に貢献し、患者様から信頼される医療機関になることを目指しています。

本事業ではさらなる地域貢献を目的とし、停電対応型CGSと停電対応型GHPを設置し、災害時にも空調を稼働できるシステムを導入し、富山市災害時等協力事業所として協力できる体制整備を行いました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 5kW×1台、停電対応型GHP 56kW×2台
- 補助金額：9,889千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途：[発電] 1Fロビー、共用部(コンセント利用)
[温水] シャワー室で給湯利用
[空調] 1F・2F部分

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	597㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

医療法人社団若葉会 高重記念クリニック 院長 高尾 昌明 様

築13年を過ぎたころより空調機の不具合が目立ちはじめ、空調機の更新を考えている中で、ガス会社から補助金を活用した提案を受けました。クリニックの受診者様や病児保育利用のお子様、リハビリの利用者様にご利用中の停電時や災害時に少しでも安心できるよう空調が稼働できるようになるのは大きなメリットと考えました。空調機の不具合を夏前までには更新したいということで、早急にスケジュールにあわせて準備をすることになりました。

今回、標準型の空調機に更新するのではなく、停電時に空調と照明が利用できる設備を導入することで、地域貢献ができるということを知り、今回の補助金制度を利用して停電対応型の設備を導入することを決定しました。近年自然災害のニュースが多く、当法人の運営施設のある地域でも床上浸水等がみられましたが、今後は災害時に地域の方々の避難所として協力できるものと考えています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調設備



コンセント



給湯

協定概要

富山市の「富山市災害時等協力事業所登録制度」に基づき、防災活動に無償協力する事業所として令和4年12月に避難所としての登録を行っています。災害時等において市等が行う防災活動には、この登録に基づき協力します。

パウダーテック株式会社

福利厚生棟／千葉県柏市

当社は1956年に柏市の企業誘致第1号として、半世紀以上にわたり柏市とともに成長してきました。おかげさまで当社の主力製品である、複合機やプリンターなどの現像剤として使用する電子写真用キャリアは、世界シェア70%の製品となりました。当社の経営理念のひとつに「技術を以て社会の繁栄に貢献する」があり、中期経営計画ではESG経営の推進を進めております。2017年に経済産業省より地域未来牽引企業に選定され、地域との共存共栄はもちろん、災害時にも地域の皆様にお役に立てるよう取り組んでおります。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型GHP 56kW×1台
- 共同申請者：みずほリース株式会社
- 導入方式：リース
- 補助金額：3,300千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：[発電] 3F食堂(コンセント利用、照明)
[空調] 3F食堂

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	170㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

パウダーテック株式会社 経営管理部 次長 小池 正喜 様

当社の旧福利厚生棟は木造で築60年が経過し、東日本大震災により屋根の一部が傾くなどのダメージを受けた際も補強して使用を続けていました。その後、従業員の安心や安全といった職場環境整備に着手し、福利厚生棟建替え検討時には、近年の自然災害増加に対しての何らかの対応や、災害時に地域の皆様のお役にたてることも含め検討していた時に、都市ガス会社様より、災害時に停電しても空調の自立運転可能、かつ、容量は小さいが発電できるGHPの提案をいただきました。当社には中圧ガス管という災害に強いとされるインフラが整備されているため、補助金も活用できるという魅力的な提案でした。

この設備の導入により、停電時も一部空調やコンセントが使える施設になり、避難所として地域の皆様のお役に立てると考え、柏市に打診し協定に至りました。

オール電化にすればインフラ投資を圧縮することもできますが、1つの熱源への依存は災害時はリスクになります。GHPは、EHPよりも初期費用がかかりますが、今回の補助金を活用することで投資コストをEHP並みにすることができ、停電時に稼働できるメリットも享受できました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調設備



照明設備



コンセント

協定概要

柏市とは「災害発生時における施設等の利用に関する協定書」を締結(令和4年11月)。市内で災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、柏市の要請に基づき当該施設(3階食堂、トイレ等)を避難所として提供することについて定めております。

学校法人京都産業大学

京都産業大学 並楽館・国際交流会館・4号館／京都府京都市

京都産業大学は、特定の母体に基づかず、学界はもとより各方面の志を同じくする人々の支持・支援・協力によって、1965(昭和40)年に経済学部・理学部の2学部をもって京都市・上賀茂に創設されました。

創設者(学祖)で宇宙物理学者の荒木俊馬は、「建学の精神」において、「将来の社会を担って立つ人材の育成」が本学の使命であることを掲げました。歴代の学長は、この建学の精神を根幹に、時々の国内外の情勢や社会の要請等を踏まえた「教学の理念」を確立のうえ、時代に合った教育研究体制及びキャンパスの整備を推し進めてきました。

現在では、文系・理系10学部10研究科をそろえ、約15,000人の学生を擁するに至っています。また、卒業生数は、約16万人に上っています。



並楽館 外観



国際交流会館 外観

4号館 外観

補助事業の概要

導入設備: 停電対応型GHP 56kW×22台(3施設合計)

補助金額: 並楽館 … 16,236千円(補助率1/3)

国際交流会館 … 11,012千円(補助率1/2)

4号館 … 46,546千円(補助率1/3)

災害時の設備用途: [発電] 空調へ給電(並楽館・国際交流会館・4号館)

[空調] 並楽館 … 1F食堂客席・学生ラウンジ、2F食堂ホール

国際交流会館 … 1Fメディアルーム・パソコンルーム・和室・多目的ルーム・ロビー・事務室
2F・3Fのキッチンルーム、4Fのキッチンルーム・洗濯室前室

4号館 … 2F～4Fの講義室・学生ラウンジ等の空調

対象施設	避難所面積	供給方式
指定避難所	6,255㎡ (3施設合計)	国際交流会館: 中圧 並楽館・4号館: 低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

学校法人京都産業大学 管財部 西浦 匠吾 様

現在使用中の空調機の更新時期が近づいている中で、空調・衛生関係の取引業者から、補助金を活用した提案を受けました。単なる機器更新のみならず、既存設備を停電時に稼働できることが大きなメリットであることから、空調機更新に係る内容を停電対応型に再設計し、導入に至りました。これにより、該当建物の食堂フロア、ロビー、ラウンジ等が停電時に避難所として活用できるエリアとなりました。

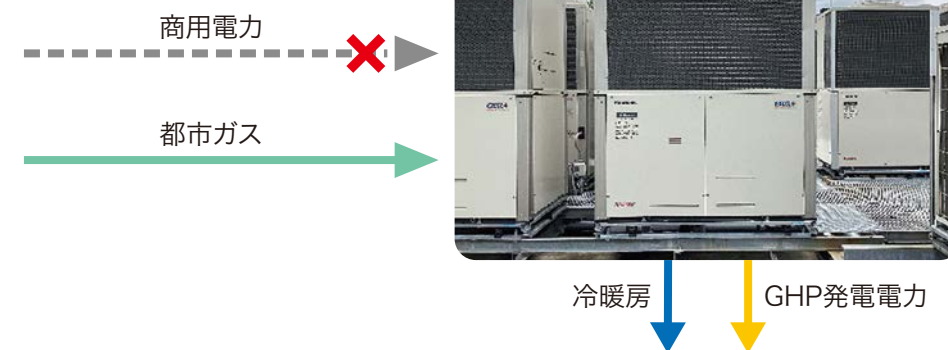
本学はかねてから指定避難所として制定されており、災害時には学生、地域住民の避難所となります。避難所となるスペースはこれまで停電時は空調が稼働しない状況でしたが、今般の停電対応型GHP空調の導入により、コストを抑えて設備導入をすることができました。

学内には中圧ガス設備が設置されています。都市ガス設備は災害に強いことも、今回の導入の決め手となりました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

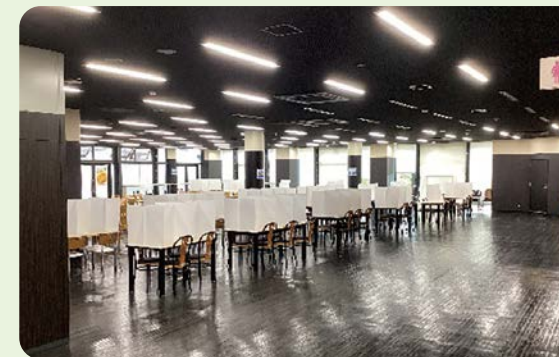
停電時の設備活用イメージ

(例) 並楽館



避難スペース(一例)

1F 学生ラウンジ

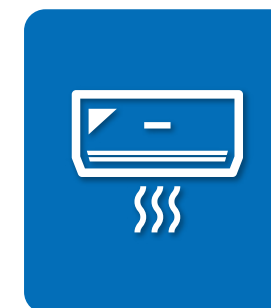


2F 食堂ホール



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



※画像は並楽館のものです。

協定概要

本学は京都市の指定避難所として制定されております。今回補助金を導入した建物の避難所スペースでは、災害発生時に空調等の継続利用ができる計画となっています。

守谷市／地方公共団体

守谷市立けやき台中学校・御所ヶ丘中学校・黒内小学校 各校の屋内運動場／茨城県守谷市

守谷市は、茨城県の南西端にあり、東西南北約8kmのコンパクトな地形と利根川・鬼怒川・小貝川の3河川が流れる水と緑に恵まれたまちです。都心から40km圏内に位置し、さらに平成17年のつくばエクスプレス開通により人口が増加し、現在は人口7万人を超える地域です。

ブランドメッセージとして、「守谷は未来におせっかいです。」を掲げ、「わくわく子育て王国もりや」、「いきいきシニア王国もりや」、「地域主導・住民主導による市民王国もりや」、「スマートデジタル王国もりや」の基本施策に取り組んでいます。

本件は、昨年補助金を活用し、「防災・減災対策の充実」として、指定避難所の小・中学校屋内運動場に都市ガス停電対応型GHPを設置し、学校教育及び避難所環境の改善と強化を図った事例となります。

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×8台
内訳：けやき台中学校 3台
御所ヶ丘中学校 3台
黒内小学校 2台

補助金額：40,586千円(補助率1/3)※3校合計

災害時の設備用途：[発電] 屋内運動場(体育館アリーナ)へ給電(照明、コンセント利用)
[空調] 屋内運動場(体育館アリーナ)

対象施設	避難所面積	供給方式
指定避難所	2,382㎡	低圧



守谷市立けやき台中学校 屋内運動場 外観



守谷市立御所ヶ丘中学校 屋内運動場 外観



守谷市立黒内小学校 屋内運動場 外観

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



※画像は守谷市立けやき台中学校のものです。

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

守谷市役所 生活経済部交通防災課 様

当市は、市内の小中学校全ての屋内運動場に空調設備を設置する計画でした。設置に向けて計画を模索していたところ、ガス会社から補助金を活用した空調設備の提案を受けました。

当市は、市内13ヶ所の小中学校屋内運動場及び公共施設5ヶ所の合計18ヶ所を避難所として守谷市地域防災計画で指定しています。今回、補助金を活用し、小中学校屋内運動場に停電対応型GHPを設置することで、平時の学校教育活動における熱中症リスクが軽減され、そして災害時の避難所環境が向上し、さらには停電時にも空調が稼働し、照明・コンセントが使える環境になることで、避難所の機能が向上しました。

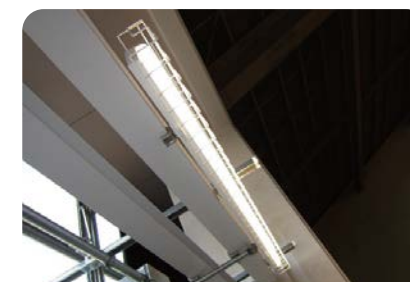
守谷市の各小中学校の屋内運動場は災害時に避難所として開設する際、ライフラインが遮断されるような大規模災害にも自ら発電し、非常用照明の点灯、携帯電話の充電用コンセント等の確保は、避難された市民の方の避難環境を確保するうえで必須となります。今回の補助金で、停電時に稼働できる設備の導入、さらに財政面での課題も解消できるので、導入できるチャンスと考えました。

都市ガスは、燃焼時のCO₂排出量が最も少なく優れた環境特性を持っていますが、ガス導管のため地震等に弱いイメージがありました。しかし、補助金名にも「災害時の強靱性向上に資する」とあり、さらに、「耐震性を高めた低圧ガス供給について」にもあるとおり、耐震性が高まっているものと感じています。

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント

※画像は守谷市立けやき台中学校のものです。

協定概要

今回停電対応型の都市ガス設備を導入した施設(体育館)のある3校は、いずれも守谷市の指定避難所に制定されています。災害発生時には、体育館アリーナの空調および照明、コンセントが継続利用できる計画となっています。

工場

令和3年度

強靱性
向上

株式会社キンレイ

筑波工場／茨城県阿見町

当社は1974年創業の冷凍麺製造企業です。スープ・麺・具材の三層構造は1975年に実用新案登録され関西のコンビニエンスストアから鍋焼うどんを販売。現在ではほとんどのコンビニエンスストアの冷凍食品売り場で、販売されるようになりました。「真心の手仕事で、街の専門店を越える専門店になる」を合言葉に日々、味の改良を重ね、皆様に末永く愛される商品作りを目指しています。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 700kW×1台
- 共同申請者：東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
- 導入方式：エネルギーサービス方式
- 補助金額：87,175千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：[発電] 冷凍食品を冷凍して避難者へ提供、避難所の照明・コンセント・換気設備向け
[温水] ボイラ給水加温、プロセス用温水タンク利用
[蒸気] 生産プロセスへの供給

対象施設	避難所面積	供給方式
物資提供	133㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

株式会社キンレイ 筑波工場 計画グループ 齋藤 裕亮 様

災害に強く安価であった都市ガスに移行する事でランニングコストが削減され、停電時に稼働出来るようになるのは大きなメリットだったのでCGS設置をする事になりました。さらに補助金でコストを低減できるのであればと翌年の補助金のスケジュールに合うよう前年度より準備する事になりました。

2011年の東日本大震災で被災した事や昨今の自然災害の頻発を目の当たりにし、当施設でも災害時に地域に貢献出来ればと考えておりました。今回、補助金を活用し、停電時に電気が使用出来る施設になる事で避難所としてお役に立てると思い、行政に協定を提案しました。

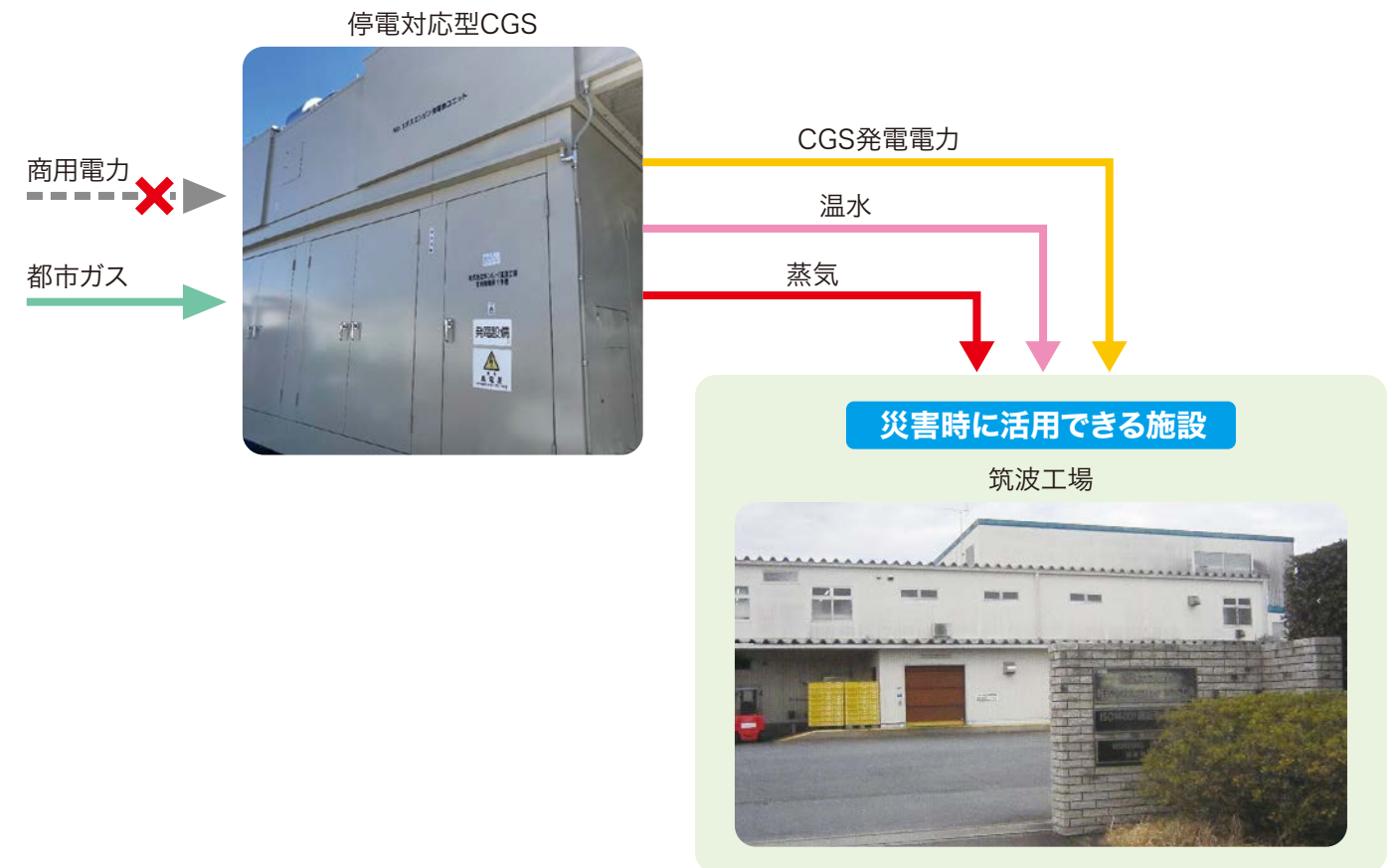
従来から災害時に飲料水を提供出来る避難所として協定は締結していましたが、停電時の避難所としての役割に不安を感じていました。また、災害により食糧難となった場合、冷凍庫内の自社製品(冷凍食品)を守る事で、水だけでなく食料も提供できる避難所としてさらなる地域貢献が出来ると考えました。

今回の補助金で、停電時に稼働できる設備の導入コストが抑えられるので、チャンスと考えました。

東日本大震災の際、都市ガスの供給が数日止まったと聞いていた為、災害に弱いイメージがありました。その後、災害に強いという話をいくつか聞いているうちに、信頼してもいいのではと考えが変わりました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



協定概要

阿見町とは「災害時における物資の調達供給及び施設利用等の協力に関する協定書」を締結(令和3年8月)。地震、風水害、その他の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合には、施設等を使用すること(被災者等を一時収容するための施設の提供、調達可能な物資の提供)を定めております。

学校法人福岡工業大学

福岡工業大学FITアリーナ／福岡県福岡市

学校法人福岡工業大学は大学・短大・附属高校を設置しています。「For all the students.～すべての学生生徒のために～」を経営理念に掲げ、情報・環境・モノづくり領域で、広く社会に貢献する人材を輩出しています。

今回、福岡市との臨時避難所協定締結を受け、本学の使命でもある地域貢献をさらに高次で実現するため、都市ガス利用の停電対応型GHPの導入を決めました。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×2台

補助金額：5,975千円(補助率1／3)

災害時の設備用途：[発電] 1F小体育館の空調、照明、コンセントへの給電
[空調] 1F小体育館

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	643㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

学校法人福岡工業大学 経営管理部 管財課 栗山 弘毅 様

近隣からの要望で、本学のFITアリーナを災害時臨時避難所としたいというお話を福岡市からいただきました。FITアリーナは体育施設であるとともに、毎年地域の方へ向けコンサート等のイベントを開催している施設でもあり、今回の避難所協定は更なる地域貢献になると考え締結に至りました。

FITアリーナの1階小体育館は空調機が未設置であったことで、今回の協定締結を機に空調機導入を検討。ガス会社様に相談したところ、当該補助金を活用した停電対応型GHP設置のご提案をいただきました。停電時でも空調・照明・コンセントに給電できることで災害時の強靱性向上に繋がることに加え、補助金により導入費用を大きく抑えられることは大変魅力的であったため、導入を決めました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント

協定概要

福岡市とは「災害時における施設等の利用協力に関する協定」を締結(令和3年12月)。地震、風水害等の災害発生時には、当該施設を臨時避難所等として利用すること(避難者の受け入れ、トイレ等の提供 他)について定めております。

社会福祉法人小杉福祉会

特別養護老人ホーム太閤の杜／富山県射水市

大きな薬勝寺公園の豊かな自然を満喫しながら、やすらぎのある生活が送れます。町の中心にあり、交通の利便性も良く、商店街も近くにあり、買い物・外食等にも出かけやすい場所です。

社会福祉法人として、地域住民の方々にとっての暮らしの中心にある施設として、災害時には福祉避難所として被災者等の受入れも積極的に行います。介護保険の認定を受けておられる方を対象として「入浴」「食事」「機能訓練」「趣味の活動」等のサービスを提供しながら、楽しく施設でも在宅でも自分らしく生活が送れるようにサービスの充実とより質の高いサービス提供を行います。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS 5kW×1台

補助金額：3,443千円(補助率1／3)

災害時の設備用途：[発電] 1Fを避難所とする箇所の照明、コンセントに給電

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	140㎡	低圧

事業者様の声

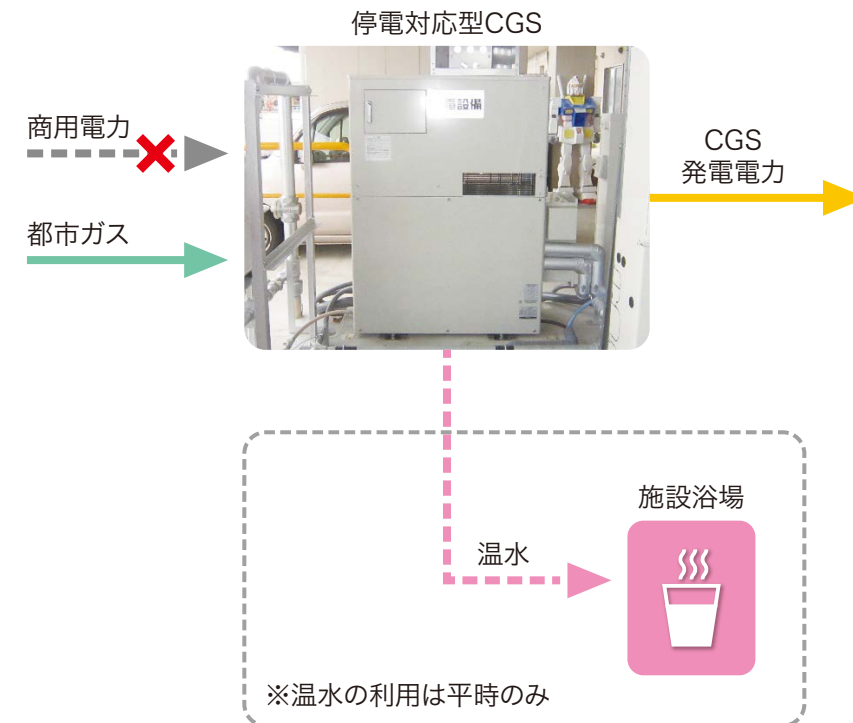
補助金を用いた設備導入の経緯と効果

特別養護老人ホーム太閤の杜 施設長 北村 愛 様

これまで使用していた給湯器は、電気の給湯器でした。その給湯器も故障が相次ぎ買い替えを考えていました。電気にすべきか、ガスにすべきか迷っていた時に、停電時に稼働し緊急時に使用できる赤コンセント設置の提案を受けました。当施設は、重度の高齢者が入居され、吸引機、在宅酸素など生命に関わる機材もあり、その方々の命を守るために理事会で提案し承認され準備する運びとなりました。社会福祉法人であり、地域に貢献する義務があります。また福祉避難所でもあるため、災害時には地域の方々も避難されることが予想され、さらにコージェネレーションシステムの導入の決定にもなりました。従来から災害時の避難所として協定は締結していたが、ニュース等、で避難所で空調が使えない・照明がつかない等停電した場合の状況を知り、実際に災害が発生した場合のことを考えると、不安がありました。今回の補助金で、費用面での問題を解消できるので導入のチャンスと考えました。都市ガスは、当初地震等に弱いイメージが正直ありました。しかし、配管の材質等の説明や補助金の説明を聞き、安心できると感じています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



照明設備



コンセント

協定概要

射水市とは「災害時における福祉避難所としての使用に関する協定書」を締結(平成19年5月)。

大規模な地震、風水害等により災害時要援護者が避難を余儀なくされた場合に、射水市の要請を受けて、当該施設を福祉避難所として使用することを定めています。福祉避難所となる1階スペースの照明およびコンセントは災害時にも継続利用できる計画となっています。

医療法人財団明理会

仙台青葉ロイヤルケアセンター/宮城県仙台市

仙台青葉ロイヤルケアセンターは、「ユニットケア」を取り入れ、利用者さま一人ひとりの個性や、生活リズムに応じて暮らしていけるよう、サポートしている施設です。

明るく家庭的な雰囲気の中で、専門スタッフによる医療から介護、リハビリのサービスを提供し、利用者さまの日常生活動作（ADL）の自立を支援されています。

福祉避難所となる当該施設において、より充実した避難所を提供できるようになりました。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS35kW×1

補助金額：約11,394千円（補助率1／3）

災害時の設備用途：[発電] 給湯循環ポンプ・加圧給水ポンプへ給電、冷凍庫へ給電、避難スペース（1,2階）へ給電（充電等）

[温水] 蓄熱温水タンク、貯湯タンクへの加温

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	251㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

仙台青葉ロイヤルケアセンター 事務長 中村 晋吾 様

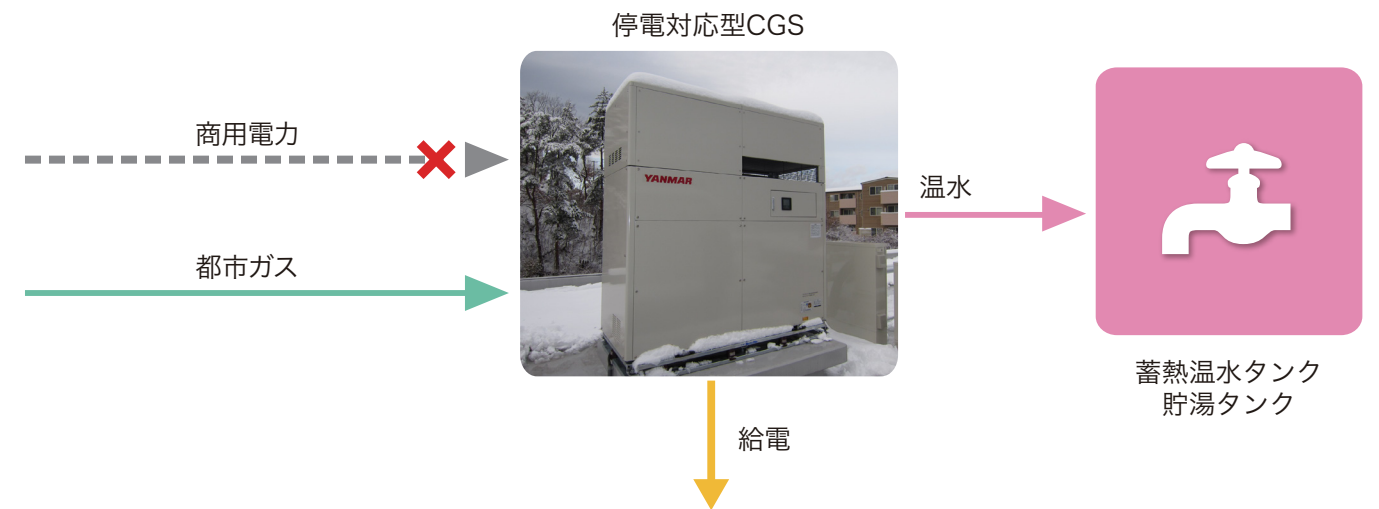
既存標準型CGSの更新を検討している際、ガス会社より停電対応型CGSに更新する提案を受けました。停電対応型に更新することで、停電時に利用できる設備が増えること、現在の電力需要に合わせ定格出力をサイズアップさせることでピークカット量が増えること等にメリットを感じました。

その提案内容の中に補助金の活用に関する項目もあり、補助金を活用すればイニシャルコストの低減ができることも魅力的でした。

当施設は介護老人保健施設であり仙台市と福祉避難所として協定を結んでいます。今回補助金を活用することで災害時の強靱性が向上した避難施設になり、要配慮者が避難時により快適に過ごすことができることから、補助金を活用しての設備導入を決めました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)



機能訓練室



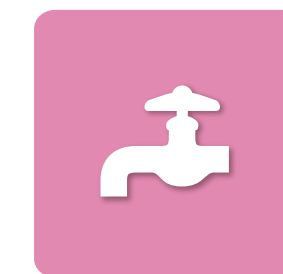
加圧給水ポンプ

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



コンセント



給湯・給水

協定概要

仙台市とは、「福祉避難所の設置及び管理運営に係る協力に関する協定」を締結（平成25年4月）。地震、風水害その他の災害が発生した場合において、当該施設が福祉避難所として開設することについて定めています。

太田市

太田市新田福祉総合センター/群馬県太田市

太田市新田福祉総合センターは、太田市が所有する福祉施設です。同市の西部に位置し、敷地内に天然温泉もあることから、日々地域の方に利用されています。

指定避難所に位置づけられている同施設。今回、補助金を活用して施設の空調を更新し、災害時停電が発生した場合でも空調とコンセント給電を行う事ができるようになり、より安心して地域の方がご利用いただける施設となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型GHP56kW×9台
- 補助金額：約41,500千円（補助率1／2）
- 災害時の設備用途：[空調] 各階の空調
[発電] 非常用コンセント

対象施設	避難所面積	供給方式
指定避難所	1,707㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

太田市 福祉こども部 長寿あんしん課 宮崎 裕夫 様

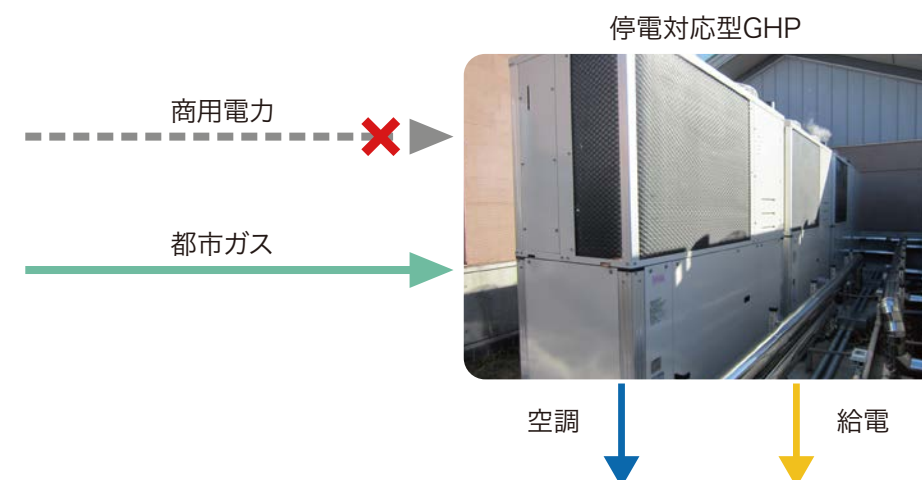
当施設の空調設備老朽化の現状を踏まえ改修工事の計画で、設備の選定及び工事コストの課題を含め、建築部署及びガス会社から補助金の活用の提案を受けました。

既存設備は停電時に稼働することができないタイプでしたので、補助金を活用した場合で導入する停電対応型に大きなメリットを感じました。

本施設は太田市役所が管理している施設であり、災害が発生した時は本市の地域防災計画により、地域の市民を守るための避難所として開設をします。今回停電対応型の都市ガス設備を導入することで、停電時にも空調やコンセントが使えることは、市民の安全の確保と本部との情報共有ができることで避難所活動での一助となることと考え導入することになりました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)



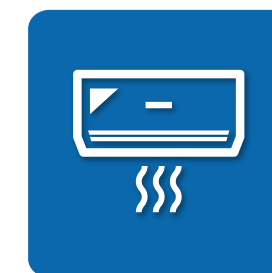
憩いの間（大広間）

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



コンセント



空調

協定概要

「太田市地域防災計画」において、避難所として位置づけられています。

工場

OSPレーベルストック株式会社

滋賀工場/滋賀県米原市

OSPレーベルストック株式会社は、シール・ラベルの印刷用原紙、フィルム加工品を製造販売している会社です。国内最大級の規模の工場で、品質、衛生管理を徹底し、日々技術の進化に挑戦しています。

補助金を活用して停電対応型CGSを導入した結果、停電時にも生産を継続できるとともに、避難所という形で地域社会に貢献できる施設となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS1000kW×1台、温水吸収式冷凍機65RT×1台
- 共同申請者：JA三井リース株式会社、Daigasエナジー株式会社
- 導入方式：リース・エネルギーサービス方式
- 補助金額：106,300千円（補助率1/2）※複数年度申請のため、R4当初・R4補正交付額の合計額
- 災害時の設備用途：[発電] 避難所の空調・照明・コンセント・トイレ給排水設備への給電、避難者誘導のための構内照明・保安電力
- [温水] 利用なし（通常時は生産設備に利用）
- [蒸気] 利用なし（通常時は生産設備に利用）

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	386.22㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

OSPレーベルストック株式会社 技術開発部 設備保全技術課 課長 堀内 雅彦 様

補助金を知ったきっかけは、ガス会社からの提案でした。電力使用量の多い弊社において、通常時は購入電力を減らし、災害時はメインの生産設備を稼働させ、お客様への供給を継続できる停電対応型CGSを補助金活用によりコストを抑えつつ導入するというものでした。

また、災害時に停電対応型CGSから給電ができるため、自治体と協定を結べば空調やコンセントが使える避難所として地域社会に貢献できることも知りました。

近年、自然災害のニュースを目にすることが増えました。当施設でも災害時に地域の役に立てればと考えてはいたものの、どう貢献できるのかイメージができずにいましたので、お客様への安定供給を可能にしつつ地域に貢献できるならと、補助金を活用した設備導入を決めました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



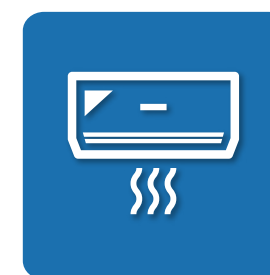
避難スペース（一例）



食堂

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



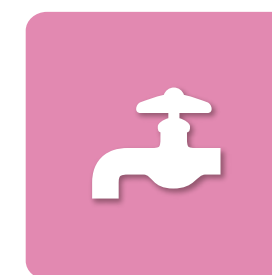
空調



照明



コンセント



給排水設備

協定概要

米原市とは、「民間等協力緊急避難所に関する協定書」を締結（令和4年9月）。地震、風水雪害その他の災害が発生し、または発生する恐れがある場合に当該施設を避難所とすることについて定めています。

商品
小売業

令和5年度
補正

強靱性
向上

株式会社バローホールディングス

ホームセンターバローメガストア羽島インター店／岐阜県羽島市

株式会社バローホールディングスは、スーパーマーケットを中核に、ホームセンター、ドラッグストア、スポーツクラブ等、地域の多様なニーズに応える事業を展開されています。

本事業は、その業態の中からホームセンターを避難所とし、災害時の停電下においても発電と空調が可能なGHPを導入されたものです。

令和6年度補正においても、当該店舗の避難所の拡充申請をいただいているだけでなく、他数店舗でのご採用もいただいております、地域貢献への積極的な企業姿勢を具現化されています。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP56kW×15台

補助金額：約46,883千円(補助率1/3)

災害時の設備用途：[空調] 空調

[発電] 停電時コンセント、売場・トイレ照明への給電

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	6,220㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

株式会社バローホールディングス 店舗運用部 既存店対策課 マネージャー 清水 孝一 様

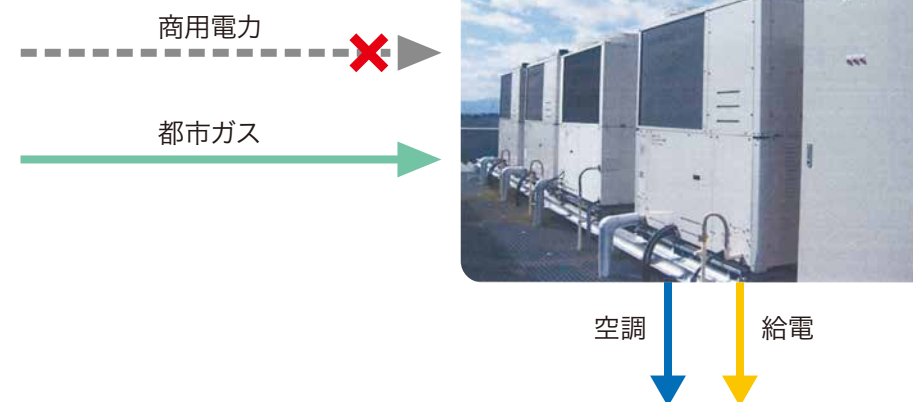
災害時に自立発電ができるGHPがあることを知り、レジリエンス向上を目的として、都市ガスで稼働中のGHPを更新する際には、自立型に更新することを考えています。

また、近年の自然災害の発生状況も増加していることから、弊社として、災害等緊急時連携協力の強化にも力を入れており、避難所として店舗を開放し、近隣住民の方々に安心して利用いただける場所を提供したいと考え、行政様と協定を締結しています。停電時にはGHPの自立運転に加え、照明やスマートフォンなどの通信機器が充電できる非常用コンセントも設置し、よりよい環境を提供できるように計画しています。

約3年前より当該補助金を活用させていただいていますが、今後とも、更新時期が近い店舗から計画的に更新を進めてまいります。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



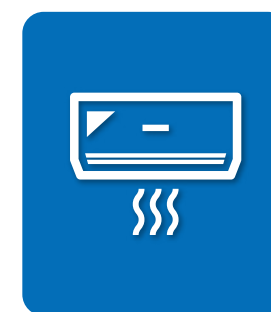
避難スペース(一例)



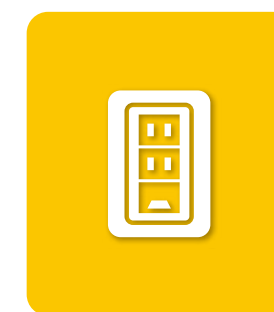
売り場

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント



照明

協定概要

羽島市とは、「災害時における支援協力に関する協定」を締結(令和7年1月)。災害時において、施設を避難所として利用することについて定められています。

長泉町

長泉町立北小学校/静岡県駿東郡

長泉町立北小学校は、南海トラフ地震等の大規模な災害で家を失ったときや地域で避難するときに備えて、広域避難場所(指定緊急避難場所、指定避難所)として位置づけられています。

今回、補助金を活用して体育館に空調を設置し、災害時停電が発生した場合でも空調とコンセント給電を行う事ができるようになり、より安心して地域の方がご利用いただける施設となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備: 停電対応型GHP56kW×4台
- 補助金額: 約22,007千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途: [空調] 体育館アリーナの空調
[発電] 体育館コンセントへの給電

対象施設	避難所面積	供給方式
指定避難所	687㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

長泉町 地域防災課 主査 長辺 雄二郎 様

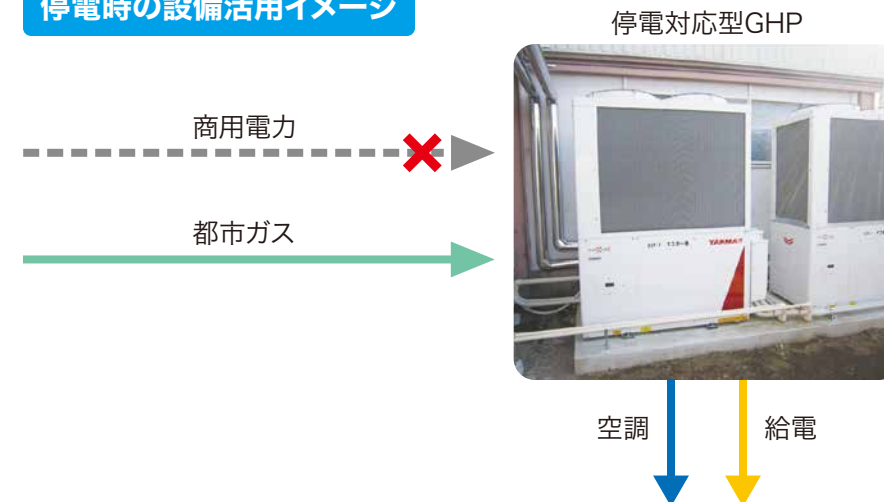
当該施設は、令和3年7月の大雨により避難所として開設し、住民の方々を受け入れました。周辺は、土砂災害警戒区域を多く抱える地域であること、また警報級の大雨が増加していることから、避難所への避難の可能性が高まっておりました。

避難所環境の改善を検討する中で、ガス会社から、補助制度を活用した空調設備の導入について提案を受けました。

今回、停電対応型の都市ガス設備を導入することで、平常時だけでなく、停電時にも空調やコンセントが使えることにより、より快適な避難所環境の整備に繋がると考え、設備導入をすることとなりました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



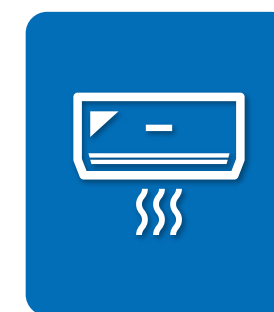
避難スペース(一例)



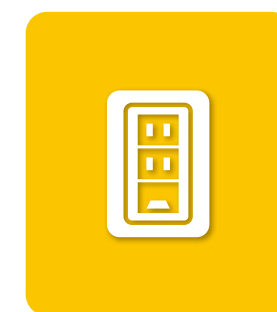
体育館アリーナ

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント

協定概要

「長泉町地域防災計画」において、避難所として位置づけられています。

工場

三幸製菓株式会社

荒川工場／新潟県村上市

三幸製菓株式会社は、せんべい・おかき・あられ等の米菓を主として製造加工・販売を行っている、国内有数の製菓会社です。

企業理念に「三つの幸せ」を掲げ、食を通じて、お客さまの幸せに貢献するよう挑戦し続けています。

補助金を活用して停電対応型CGSを導入した結果、停電時に避難所という形で地域社会に貢献できる施設となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 1,700kW×1台
- 共同申請者：三井住友ファイナンス&リース株式会社、Daigasエナジー株式会社
- 導入方式：リース・エネルギーサービス方式
- 補助金額：232,450千円(補助率1/3) ※複数年度申請のため、R5当初・R5補正交付額の合計額
- 災害時の設備用途：[発電] 避難所の空調・照明・コンセント等への給電
[蒸気] 利用なし(通常時は生産設備に利用)

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	816.5㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

三幸製菓株式会社 生産部 生産課 課長 永岡 侑真 様

弊社グループは、さまざまなESG課題の中から、自社が優先して取り組むべき12のマテリアリティ(重要課題)を整理し、サステナブル経営計画書を策定しています。その一つとして、「温室効果ガス排出量削減」を設定しており、生産設備及び輸送手法の見直しにより、2030年までに温室効果ガスを2019年比で30%削減するという目標を掲げています。また、工場使用エネルギーの見直しをすることに加え、地域社会へも貢献したいという思いもありました。

そのような中で、ガス会社から補助金を活用した設備導入の提案を受けました。これにより、CO₂削減に貢献する自家発電が可能となり、災害時は、空調やコンセントが使える、物資提供も可能な避難場所を提供することにより地域に貢献できるため、補助金を活用した設備導入を決めました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



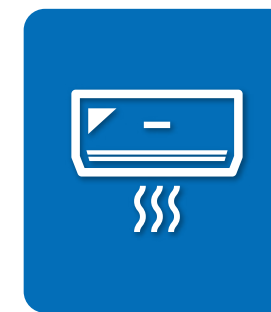
避難スペース(一例)



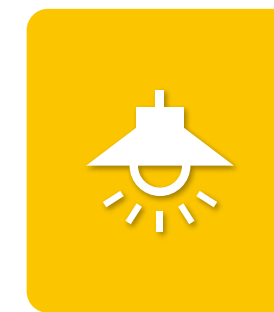
事務所棟2階

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント



物資提供

協定概要

村上市とは、「災害時等における避難場所としての使用に関する協定書」を締結(令和6年12月)。地震、風水雪害その他の災害が発生し、または発生する恐れがある場合に、当該施設を避難所とすることについて定めています。